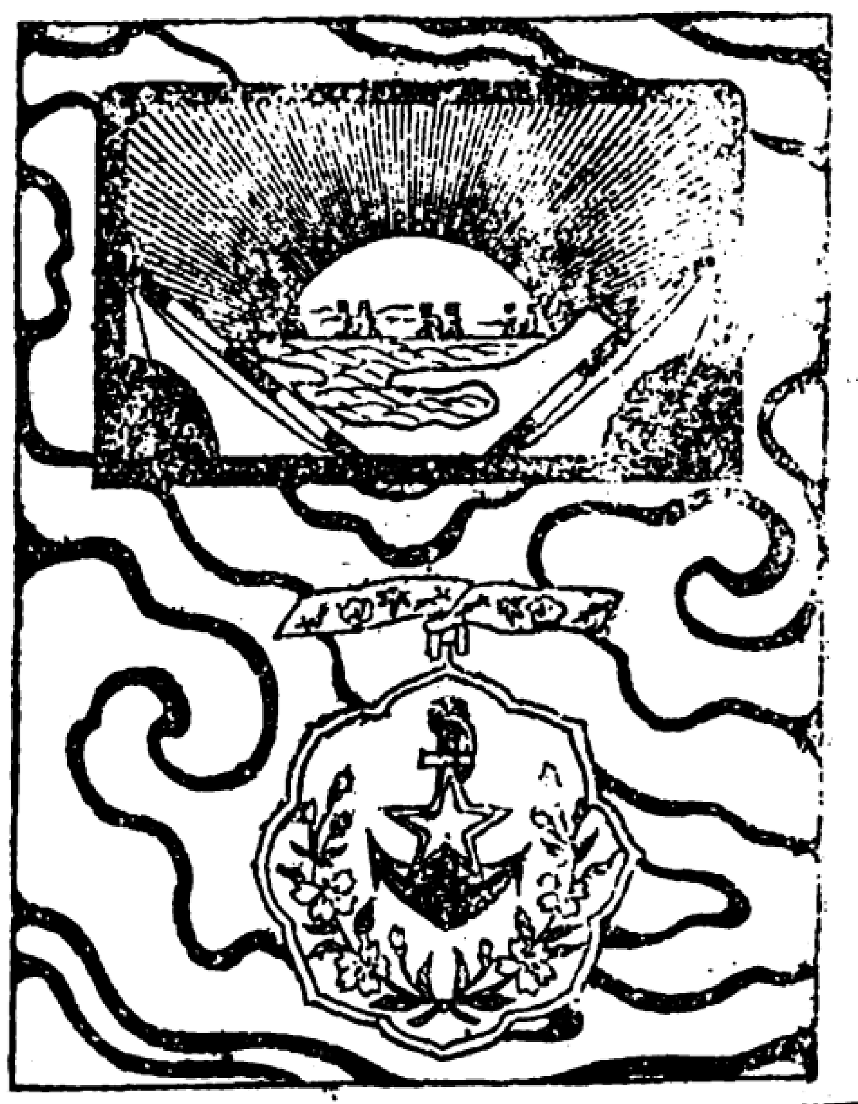
愛國婦人會機關

愛國婦人

毎月五日二十日發行
一部金參錢　一ヶ月金六錢　三ヶ月分拾八錢　半年分金參拾六錢　壹ヶ年分七拾貳錢　全國無逓送料　郵券代用（壹錢又は五厘切手）一割增
廣告料五號活字一行四拾錢
本誌全部禁轉載
發行所　東京麴町區（牛ヶ淵公園）愛國婦人會内　愛國婦人發行所
發行兼印刷人　山澤俊夫
編輯人　手島益雄



謹賀新年

軍國多事の際とは申せ、大御代の年の始め、流石に春めきて長閑に覺え候を、各地會員の君方、御けしき麗しう、御齢を重ねさせ給ふらむと、めでたく存上候、われら一同事なく年を迎へ候まゝ、御心やすく思召させられたく候、抑も昨春我國露國と釁を開き候てより、皇軍連戰連勝世界有史以來希有の偉觀に遭遇仕候、これ畢竟我が叡聖文武なる
天皇陛下御威德の然らしむる所には候へども、抑も亦我が忠勇なる軍人諸氏の賜物に外ならず候、隨て我が愛國婦人會が聊か軍人遺族救護の爲に盡すことを得たるは、總裁宮殿下の難有き召思に依れるは申すに及ばず、會員諸氏が會旨を實行するは、即ち婦人として軍國に盡す最上の義務なりと信ぜられ、互に協力奮勵して事に當られし結果に外ならずと存候、今や會員は昨年初めの四萬余人より一躍廿五萬人に増加致し候ひしは、我が國婦人の奉公心が期せずして一に向ひたる徴として、邦家の爲慶賀此事に御座候、然れども我が會の事業は、戰鬪の進行と共に益々重大と相成候へば、本年は去年にも數倍して御互に會の目的の爲邦家の爲に盡瘁致し度と存候めでたくかしこ

愛國婦人會監事　男爵夫人　三井苞子
同　公爵夫人　九條惠子
愛國婦人會理事　子爵夫人　谷玖滿子
同　侯爵夫人　山内禎子
同　侯爵夫人　鍋島榮子
同　侯爵夫人　大山捨松子
同　前公爵夫人　毛利安子
同　公爵夫人　島津田鶴子
同　前公爵夫人　近衛貞子
同　公爵夫人　徳川泰子
同　公爵夫人　一條悦子
愛國婦人會會長　公爵夫人　岩倉久子

愛國婦人會支部職員并に會員御中

社説

長壽とは何ぞや

──何日寢るとお正月なりと指折り數へて待つて居る子供は勿論、大人にも年寄にも惡くないものはお正月なり、何故お正月は左程目出度いかと問はゞ、人樣々の返答あらんも、先づ大抵の人は、今年の初日出も拜め、無事息災で生き存へて居るのが目出度いといふなるべし。然らば何故生きて居るのが目出度いか、一體長壽とは何であるか、年の始にそれを考ふるは、『謹賀新年』の極り文句を陳ぶるよりも、讀者に對する一段の禮儀なるべし。

動物は唯現在に住するのみにて、未來の觀念なし即ち生あるを知て、死あるを知らざるが故に、長壽の欲し機もなけれど、人間は然らず、人は今日に住するのみならず、又未來を想像し、何時かは死の免れざるを知り、死の苦痛を豫想して、如何にかして死期を延ばし、出來る事なら萬年も存へんと慾張るものすらあり。然れども人間の貴き所以は唯其長壽なるが故にあらず、若し長壽を以て誇りとせば、鶴は千年龜は萬年、人間は其足許にも寄りつけるものにあらず、たゞ呼吸するを以て人間の能事とせば、風櫃にて足れり、人間でなくてもの事なり。苟も生を此世に受く、活動なかるべからず、即ち人間に於て命の貴きは、活動するの時間として貴きなり、働きもせずして長壽したりとて、人に於て何の譽ぞ。長壽の貴きは働く時間が多くなるからなり。長壽は働くに於て始めて意義あるにて、長壽そのものは別に人間としての價値を上下するものにあらず、然るに世には唯の長壽を誇るものあり、東洋人は一體年齢に執着するの癖あり、五十を知命といひ、人生の坂と稱へて、五十以上は命の拾ひものと思ひ、六十一に年賀を受け、七十を古稀と稱へ、七十七には喜の祝をなし、七十翁八十翁などと長壽を自慢に披露するといふ、これが自分はこれほど年を取つても、御覽の通りまだ働くといふ印ならば、其人としても國としてもこれほど目出度いことはなけれど、何とて一つ働きらしき働きもせず、たゞ命の長い所を見てくれいとの事ならば、我等は一向感心せず、目出度とも思はず凡そ人たるの義務は死ぬるまであるものなり。これだけの事をしたから、もし樂をしてもよいといふ時のあるべきものにあらず、長壽は樂をせうためにあらずして、少しも多く働き、少しも多く仕事をなさんがためなり。生理學は敎ふらく、人は能百歳の壽を保ち得べしと、然れどもこは唯理論のみ、實際万に一人も百まで生きるものはあらず、『お前百まで私や九十九まで、共に白髮の生へるまで』とは、たゞ言うて見たものにて、先づ何人も望みなきものなり、然らば人間は六十七十年が相場にて、その上の望なきかといふに、左にあらず、こゝに百年は愚か千年も生きる工夫あり、それは他にあらず、身體に生きずして、活動に生くることなり。體に生きずして事業に生くることなり、肉に生きずして、精神に生くることなり。人の肉は死し人の形骸は潰滅せん。然れども人は活動に於て長へに生くるを得べし、これを釋迦に見よ、孔子に見よ、基督に見よ、彼等の肉は數千年の昔既に塵埃となりて其影を留めざるなり、然れども彼等の活動は數千年の間世界の人心に偉大の影響を及ぼせるにあらずや、數百年の昔湊川の土と化したる正成、近くは國の爲に壯烈なる最後を遂げたる軍人諸氏の忠勇義烈の精神は、我が國民に偉大なる感化激勵を與へて、日本國のある限り、子々孫々まで生き傳はるにあらずや。彼等が肉體の壽は實に常人の壽を踰えざりき、否二十にして死し、三十にして死したるものあるなり。然れども見よ彼等は長へに生けるにあらずや。此意義に於て人は實に長生し、未來の存在をなすに難からざるなり。唯世人は之を求むるの方向を誤れり。彼等は徒らに肉體の長生を欲し、懶惰なる祈禱に由り空想を賴んで、死んでも命があるやうにと願へり。而して自ら活動し、自力によりて、其大小を論せず我が事業若しくは影響の不死を求めんとするものゝ尠きは何ぞや。固より人が皆偉人豪傑にあらざる以上、名を不死に傳ふることは、必ずしも望むべきにあらずと雖も、活動の動機は名にあらずして、仕事にあり、我が仕事が、人は知らずとも、何處かに殘りて人に影響すれば、それにて滿足せざるべからず、否それ以上の滿足はなき筈なり。名聞を當てに仕事するは、眞に仕事に忠實なるものにあらず。即ち長壽は仕事の不死にありて名の不死にあらざるなり。今や我が國婦人の爲すべき事業は實に山ほどあるなり。今が婦人の働き時なり、最も働き甲斐のある時なり、此時に當り、飽食暖衣逸居して、只管肉體の長壽を貪り、何一つ仕出來すこともなくして、朽ち果つるは、誠に殘念千萬ならずや、たとひ百歳の壽に達したりとも、此の如くんば我等は之を短命といはん。以上の氣持と覺悟を以て、謹賀新年と挨拶すこゝに於て新年が本當に目出度く活きて來るなり。然らずんば畢竟兒戯のみ。歲首長壽の說を作り、謹んで讀者諸姉の萬福を祈る。

電話番町五百二十番

◎本號には附錄として迪宮裕仁親王殿下、淳宮雍仁親王殿下の御肖像を添ふ

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎我か家の新年

近衛家

近衛家家臣　平野長憲氏談話

○松飾りを爲さず　近衛家ては古來松飾を致しませんこれは著しく他家と異る處てあります何故てあるかと云ふ事は調べがつきません

○四方拜を行ふ　元朝には朝早く起きて四方拜が行はれます寢殿と云ふものがありまして其處に屏風を建て回し三本足の燭臺を置き丑寅の刻限に當主が衣冠單へを着け四方拜の儀式を行ひ夫れより邸內の鎭守の社に參詣し歸りて夫人と共に雜煮を祝ふ(子供は這入らず)舊例てありました

○參賀と門流　近衛家には門流が四十八軒ある元旦には門流の殿上人が親も子も孫も一統引率して凡そ百名以上も集まり一同に祝酒祝餅を出し凡そ午前九時頃に當主は轅に乘つて朝廷に參賀の爲に出ると其門流の人々が衣冠を着けて其轅に從うて參賀する例てあります

○天杯を賜ふ特例　近衛家に大夫が三人あります其內に進藤家なるものがありますこれが列の內に一人加つて居つた時は大夫にも特に天杯を賜ふの榮典を有して居りましたこれは他家に無い所柄て朝廷の慣例になつて居りました何故てあると云ふ故事は知れません。

○馬乘り始め　二日には馬乘り始めがあります馬乘り始めの式は武家にはありますが卿家には餘り無いやうに思ひます進藤家が神前にある糸櫻の馬場に於て狩衣を着て乘り當主も之を觀る事になつて居りました

○手斧始め式　工匠が素袍士烏帽子着用にて一つの角材に墨繩を引き斧を打込む眞似を爲し式が終ると猿引が來て猿万歲を行ひ家中男女之を機會に參賀に來り相共に樂しむと云ふ慣例てありました

◎我か家の新年(舊泉州岸和田藩)

子爵　岡部長職

我が舊藩に於いて新年の儀式の內で他藩と異なつて居るのは觀兵式の仕方であるそれは新年に藩の士卒を集めて山狩を催すのであるが通常の山狩りと異なつて手に何等の道具を持たないで追ひ出したる獸や鳥を手取りにするのである多く雉子を手取りにするのであるが雉子と云ふ鳥は身躰が重いから遠方へ飛ぶ事が出來ないで多數の人に追ひ回されると遂には手取りになるのである其他偶には狐を手取りにしたり狸を手取りにしたりする獲物に依つて功を論し賞を行ひ以て武勇の奬勵方法の一つとなツて居ツた

◎我が家の新年(舊和州郡山藩)

伯爵　柳澤保惠

自分は一月一日の元旦は除夜の鐘が鳴り終ると同時に新年を迎へた譯と思ふから一家の禮は一月一日の午前○時に於て受ける事にして居るそれから昔から傳はつて居る儀式で今に廢せぬ事が一ッあるおかん雜羹と云うて一月三日に芋大根等の皮をむがす其儘汁の中に入て食のてあるこれをおかん雜煮と云ふて居る其原因は祖先が未だ士分の時であッたのであるか或新年に急いで登城せねばならぬ時に當ッて雜煮を祝ふとするに用意か出來ないそこておかんと云ふ召使女が居ツて氣轉にて芋大根の皮をむかずこれを有合せの味噌汁に入れ餅を加へ異の雜羹を製しすゝめたるに夫れを食ッて出仕した際立身せしとの緣起から來て居る別に害ない事であるから今日に至るも必ず祝膳の數に加へおかん雜羹と稱へて居る

◎消防夫の新年(消防出初式)

警視廳第二部長　松井茂

○消防出初の沿革　其沿革は餘程古いが今より五十年前に作つた出初式の繪卷物が帝國博物館に獻されて居るこれに依つて見ると其行列が餘程大した物で皮の羽織を着たものや纏を持つた者やが威勢よく練つて往く有樣が歷然として見る事か出來る

○纏は聯隊旗なり　日本ては消防に纏と云ふものがあるこれは取りも直さず聯隊旗てあつてこれを持つ者は非常に名譽な者となつて居る且緣起を貴ぶ風習てあつて來歷もある某組の纏に芥子の形と升の形とか這入つて居るのは消しますと云ふ事から來て居る纏を貴ぶ風習は江戸の消防か始まりてあると纏とは的てあるとの說もあり又馬簾てあると云ふ說もある武士が戰場に於ける旗印のやうに夫れを標識するのてある私はベルリンの消防博覽會の時これを神聖なる標識と譯した

○獨逸皇后陛下の御下問　ベルリンに於ける消防博覽會に於て特に日本の纏の事に付いて自分に御下問があつたからして詳細言上したが世界に類のない事てある日本の內ても殊に此東京が一番發達して居る他縣には纏を作つては居るが一も精神か這入つて居らぬ出初式はこれを振りつゝ威勢よく木遣りを謡ひ恰も大名か鎗を立てゝ登城すると同じうやうに行列を正して練り往くのてある

○梯子乘り　これも世界に類の無い事てある之に對して外國人の觀念では餘り藝當的に出來て居ると評したが自分共では軍隊に於て器械體操が發達したる如くに技術が發達したものと思ふ膽力を練る一の修養方法としても必要の事と思ふから今日まて保存され毎年出初式には一の特色として行ふ事になつて居る

○近來の出初式　舊來は梯子乘り等か主であつたが今日ては警視總監が馬上て點檢し軍隊に於ける觀兵式と同じやうな有樣で整然たる規律の下に人も馬も器械も整列して檢閱を受け殊に近來は消防制度の普及を計る爲に觀覽席も設け貴婦人方にも見せるやうになつて居る

○將來の出初式　歐洲などては一月四日を期とし出初式を行ふやうな慣例はないが時々演習をしたり行列などを行ふが國王自らも統御して居られる國もある我國にても追々には宮殿下方に御臨場を仰ぐ事になるだらうと思ふ

◎巳の歲の新年(辨財天の話)

不忍辨財天　輪番別當談話

○辨財天は神か佛か　辨財天は七福神の一つてありまして七福神と申せば神てあると皆さん御考へてありませうが神てはありません然らば佛かと申すに佛でもありませんつまり天人てあると申します然し今日ては佛の取扱ひになつて居りまして佛式の供養を行ふて居ります

○愛嬌の神　辨財天は如何なる幸福を人に授けるかと申しますに愛嬌を人に授けるのてあります辨天を信仰すれば美人になれると俗に申しますが如何に辨天の御力でも人の身體まで變更される事は出來ますまいが人の心に愛嬌の念慮さへ起れば自然形も美しく見える譯てありますから其敎へに基いて斯樣に云ひ來りたるものと思ひます

○福の神　諺に笑ふ門には福來ると申す通り世渡るに愛嬌の念慮を以て日々を過して往けば男女何れに於ても成功する事は疑ひの無い事と思ひます故に世俗に此神を信仰すれば利得を授かると申すはつまり成功の秘訣を敎へられたものと思ひます

○女性　辨天は女性てあります世に美しき婦人を稱贊して辨天のやうなと申しますが婦人は天性愛嬌に富む者てあります愛嬌の極は美てありますから女性になつて世を導かれる事と思ひます

○不忍辨天の緣起　慈眼大師か東叡山を開かれた節に神像をつくりて蓮池に安置せられたのが始めてあります

Digitized by Google　　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎グランド將軍の母

堀内新泉

すべて偉人の生涯を跡ねるには、先づお母さんの爲人を査して見ますと、その人を知る上に於いて、大層便利なことがございます。蟹どん〳〵の子は、矢張横に這ひますもので、賢明でないおッ母さんの育てた子に勝れた人は、まづ以て甚だ鮮いやうでございます。

一つ例をお話し致しますが、彼の名高いグランド將軍のおッ母さんは、浮いたことを好まない、至つて謹みの深い夫人で、決して我が子を賞めなかつたと云ふので名高うございました。彼の女の子息さんが、大層勝い出世を仕まして、聯合軍を指揮するやうに爲つた時でも、また祝すべき大勝利が、我が子の軍旗の下に歸した時でも、將軍のおッ母さんは他に自分の前で、我が子の手柄を賞められると、面を赤くしたと申します。とは云へ誰れしも憎くはない我が子の功名したものですもの、何うだと心の奥を叩けば、『ア、嬉しい!』の響きがあるには、素より相違ないのですが、たゞ世の中の謹み深く無い女のやうに、自分で我が子の手柄を賞めて、世の人にほこるやうな、見にくい聞きにくい行ひを謹まれたのでございます。

グランド將軍は、この謹み深いおッ母さんの美しい心のたしなみを稟けついだ仁でございます。誰れ一人として將軍自身の口から、『自分は大事業をやつた!』と云ふ、自畫自贊的功名談を聞いたものはありません。當時將軍の赫々たる武功に對して、沸くが如き感謝を以て満たされた合衆國が、無限の名譽を將軍の閣下に呈し、世界各國は口を極めて將軍の日月と光を爭ふ功績を賞揚する時でさへ、自慢の色は將軍の眼に聊かたりとも輝いては居ませんでした。

河のやうに人間の生血を流した、彼の南北戰爭の結局になつた時に、米國政府は將軍の爲にワシントン府で、一大凱旋式を華やかに擧げました。浮いた事を好まない、至つて謹み深いおッ母さんの美性を、稚い時から胸に植ゑられて居るグランド將軍は、こんな浮いた沙汰は太く心に嫌つたのでありますが、公の爲に私の好惡は棄てゝ餘儀なく凱旋式には臨まれましたが、式のお仕舞に成つた後に、『ア、飛んだお祭さわぎに會つて疲れきつた』と將軍は、歎聲を漏されたさうでございます。

また同將軍が、合衆國の軍隊總司令官の任命を受けるために、ワシントン府へ行かれた時のことでありますが、お父さんの許に將軍から、『今度の安息日をあなたと御一緒に樂しく暮す爲に御地（シンシンナチ）へ參ります』と申しおくりました。そこでお父さんは喜んで、えらい出世をしてくれた我が子息の將軍を迎へる爲に、一輛の馬車をステーションへ遣りました。けれども御者は不幸にして、エポレットと勳章とて光輝燦然たる將軍の姿を見出し得ませんでした。御者は待ちぼけを食つて、武名赫々たる大將軍は、この列車てはお來しに成らなかつたな」と想像いたしました。

ところが何んぞ知らん、御者が軍服の光輝眩き大將軍を、今か、おそしやと待ちつゝ在りし間に、國民の深き敬意を拂ふ米國軍隊の總司令官グランド將軍は、質素にも絨緞のカバンを自ら提げて、御者を他所にたゞひとり、父の宅まで歩んで行かれました。

これが若し將軍のおッ母さんにして、浮いた事を好み、心に少しも謹みの無い、我がむすこの功名を自ら口にしてほこるやうな、はしたない性質の夫人であらうならば、その人を母として、こんな偉人が出來ましやうか。白布は染料次第で何のやうにも染まり、育てかた次第で何のやうにも隨分勝いものに成る子達を持たれる世のおッ母さん方の責任は、決して輕いものだとは申されません。

子の行ひは母の心を語りつゝあり

◎女子德育講話

日本女子大學教授　松浦政泰

一家和熟の秘訣

第一に己が利益を殺ぎ己れを殺すべし石鹸は其の身を潰して物を淸むる用をなすものなり母たり妻たり姉妹たる者皆己が身を石鹸に比してゆめ其利を計り其功を衒ふべからず例せば己が嗜好に適する音樂などの會より招かれて行きたき心は山々なるべき時も他の人々のそを好まざらん氣色見えんには潜に己が私を殺して行きたき心は色にもらすべからず。

第二には啻に己が利益を殺ぐのみならず尚一歩を進めて人の利益を計るべきなり即ち夫の面白かるべき音樂會に我れは我が私の慾望を制して行かざるのみか舅姑を勸め義理ある姉妹を勸めて之に臨ましめ己れは欣然として獨り寂しく留守の役をつとむべし。されどかく人の利益を計りたるのみにては向未だ十分なりといふを得ず。

第三には人の不利益を我身に引受け人の罪過を己が被る心得が大切なり。次の飯焚お杉の美談を鑑とせば一家の内に如何に起さんとしても風波は起らじ。

今は昔權八といふ男他に増す花を拵へて女房を出さうと思ひ、之を怒らせんと色々難題をいへど、女房は常に莞々と只管詫る斗り、今日こそはと思うて足音荒く歸つた處よう御歸りなされましたといふと權八は己が内へ己が歸るに善の惡のといふ事が有ものか白癡面奴見度もない頬すこんで居ろというても本に私が惡うございました、何ぞ御許下されませといふ。何だと、何が惡いのだ我に惡い事は一つもない、人を當つけると、逆捩に捩限ても、何ぞ御免なされといふ斗り。「むつとして戻れば庭に柳哉」て獨り怒つても、相手が柳だから、仕方がない。何でも女は姿を惡く言れると怒る者ぞと、こりや先から我が顔を見て居たら、胸糞が惡く成つたから歌を詠んだ。ハイそりや御恥しうございますが、そしてマア私を歌によんで下さるは、有難ございます、イヤ有難い歌ぢやない、マアからじや「燒餅は燒ねど顔が燻りて鼻はひしやげて尻はぱつてり」何と何だ。矢張莞爾と笑ふ顔を赤くして御恥しう御ざります。コレ嬶よ、歌を讀せて御恥いては濟ぬ返歌をせろ。せぬと叩き出すぞ。それ計りは、と泣て詫る。亭主愛ぞと怒鳴る。夫れては今夜考させて、と翌朝になり、これて返歌に成ませうか。何ぞこれで御了簡と讀むを聞けば「有難や姿笑ふて心をば許し給はる君が情は」惡に強いは、善にも強い。權八之に感心して、心を入れかへ仲睦じく暮しました。

◎新案考物

一、わたし、この間かるた會に行きましたら、突然に、『炭團』の上の句をいつてごらんといはれて困りました。みなさんごぞんじ? やつぱり小倉百人首のうちにあるのださうですよ。

二、口でいへば圓い樣な、眼で見れば角のあるものは何でせう。

三、私の弟、昨日學校から歸つて來て『姉さん、もすこしすると、螢の虫を食ふ鳥がきますね』と申しますの。何のことでせう?

四、私、このほどある先生の所へ參りまして、女に一ばん大切なものは何でせうかつてきゝましたら、次の歌を示されました。が。一向わけがわかりません。みなさんどうか考へて頂戴。

『をみな子の道やいかにと人とはゞ
うけしこゝろとわれは答へん。』

五、次のをサトツテよんでごらん。しかし、たゞ一つだけサトラヌ所がなくてはいけませんよ。

しさきしさまのさはるさをさひもさとくさくさらさかな。

以上の考物を皆よく解答された先着の五人の方には、貴婦人自筆の短册を進呈致します。

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

家政

◎子供の注意

ドクトル　川瀬元九郎

○植物にさへ保護を要す、梅の木や福壽草すら早く花を咲かせやうとして煖室に入れて色々に手を懸けて世話をしてやるのに、子供は風の子であるなどというて子供が手や足を赤く腫らしたり洟をダラ〳〵流して居ても平氣で一向頓着しない方が隨分澤山あります、實に不親切不注意であると思ひます、洟を出すのは一の疾病であります、ヒビやアカギレが出來てから外用藥などを用ふるのは既に遲い、今少し早く注意して置けば子供の爲に幾何程宜しいか分りませぬ。

○寒さの注意　玆に一二の注意を申上ましやうなら、子供には成るべく寒中でも足袋を穿かさないやうにし、成るべく薄着にして寒氣に吹き曝さすやうにする方がよい、さうすると子供が丈夫になる、といふやうな謬見を立てる人があります、梅の木を寒氣に曝して置いて正月元日に花を咲かせうとすると同じことで、無理なことであります、寒さに向へば必ず足袋を穿かせ、嚴寒中はマタのある膝迄の毛糸の靴下を先づ穿かせて其上へ通常の足袋を穿かせ、且本紙第六十三號に掲げてあつたやうな股引を厚き本フランネルで製らへたのを用ひれば下肢の方が溫かであります、勸工場や足袋屋などに賣つてある子供用の股引は股の所は大變にあけてありますから宜くありません。これは只々衞生上から見て不都合であるのみでなく、風儀の上からも局部を成るべく曝露しない習慣を付けることが緊要だと思ひます。

それからフランネルのシャツを必ず用ひる必要があります、さうでないと袖や襟の邊から寒き風が吹き込みます、手や足などは心臟といふ血を送るポンプから遠方でありますから成るべく溫かにして置かねばいけませぬ。又子供が戶外で何か遊事をする時は手足を劇しく動かすから必要はないが、單に步行する位の場合には必ず手袋を用ひなければなりませぬ、私共の見聞する所では足袋や手袋をいやがッて、はめてやれば直に取去るのが澤山ありますが、之は惡い習慣が付いたからであります、その位のことは親が命令を實行させることが出來ないでは致方がありませぬ。

○室內の溫度　今一つ、室內は成るべく火鉢なり「ストーブ」なりを以て空氣を溫かにして置かねばなりませぬ、空氣の溫度が六十度であれば一番心持もよく且よく成長致します、子供は植物と同じやうなものでありますから、冬期中餘り寒い所ばかりに置きますると其間成長が中止される譯であります、然し餘り大切にしすぎてはいけませぬ、植物の煖室でも溫度が高きに過ぎまするど植物が却て弱ります、故に室內の空氣は六十度位にしてをき成るべく前に述べた樣に身躰を保護しておきまして、時々輕裝して戶外に於て劇しく遊びをやらせるのが宜しく、さうすれば皮膚も强くなり子供は丈夫になる許りであります、ヲリ〳〵寒き空氣に曝らすのは宜しいが朝から晩迄寒い所におくのては肺臟や心臟が身躰を溫かにする一方に力を盡すから子供の身躰の工合を損じます、之に反して大事にし過ぎて寒い風に決して當てないといふ主義でもいけませぬ、その所中庸を取らねばなりませぬ、生理の智識を以て基礎となし常識を以て判斷して行けば間違はありませぬ。

◎如何にせば家庭は幸福なるべきか

(右の問題について記者が左の諸氏を訪問の上聞き得たる談話の要領左の如し家政上參考とすべきを以て玆に揭ぐ)

○嘉悅孝子氏　婦人が何事をするにも常に面白いと云ふ考へを持ち愉快の氣が胸に一杯滿ちて居て元氣よく立ち働き年の始めから年の終りまで每日笑つて暮らすと云ふ勇氣が必要であります夫の命じた事ならば何事でも不平を云はず勇みと喜びとを以て之を成し遂げると云ふ風になれば一家は自然幸福の源泉となるは疑のない事と思ひます

○有島幸子氏　私は只一言にて盡きると思ひます夫れは「忍耐」と云ふ事を一家のものが互に守りさへすれば家庭は幸福であると思ひます最も能く堪へ忍ぶ人は最も能く幸福を作り出す人と考へます

○子爵岡部長職氏　一夫一婦の制度を嚴格に守る事此一言で問題の解決は盡きる事と思ふ婦人が男子に向つて滿腔の愛情を捧ぐると同時に男子も亦婦人に向つて滿腔の同情を寄する事にして決して愛を他に割讓せぬ事になつたならば日本の家庭は何れの家も幸福になる事と信ずる

○華族女學校教授原田稔甫氏　一家の幸福は家庭の健全を謀る事である家庭の健全とは第一身體の壯健なる事も包含して居るが其他內に在つては父母兄弟相融和し他に對しては爭ひが無いと云ふ事である然らば如何にせば健全なる家庭を營む事が出來るかと云ふに主婦たるものが萬事に注意して四方に眼を配り一方には家庭の經濟に陷缺のないやうにし家族の憂慮を除く事に心懸け又他方には其子弟の教育を物質的にも又精神的にも向上せしむる工夫に注意して怠らないならば自然に圓滿なる所の家庭を作りはしないかと思ふ

◎總菜日記

	朝	晝	夜
月	○みそしるとうふ ○かつのこ○まめ ○たくわん	○やきさかな ○だいこふろふき ○つけな	○ぼうてやき ○とり、ねぎ、 ○あまつけ
火	○やきどうふ ○わかめ ○なづけ	○やつがしら ○いもにびたし ○たくはん	○まぐろさしみ ○かれいにひたし ○あまづけ
水	○おみつくだに ○せりみそしる ○たくはん	○はんぺん ○だいこんにあぶらげ ○ならつけ	○さつましる ○だいこんにんじんごぼう ○なづけ
木	○みそしるにとうふ ○にまめかつのこ ○からしつけ	○ゆりまるに ○こんぶまきとりかい ○あさつけ	○さわら ○ごほうまにほうれんそしたし
金	○あかがい ○だいこんうまに ○ならつけ	○あひなめにひたし ○わかめじる ○つけな	○にく、たまれぎおむれつ ○酢なまこ ○たくわん
土	○みそしるあさり ○さつまいもうまに ○たくわん	○どぜうなべ ○れんこん、こんにやく ○つけな	○とり鍋 ○ほうれんそうしたし ○ならつけ
日	○からしなあげとうふ ○しばえびうまに ○なつけ	○あましほさばやき ○くりきんとん ○みそづけ	○あまだいにひたし ○いかごぼううまに ○からしつけ

家計支出科目一覽

項	目
1 飯食費	1 米代 2 副食物費 3 味料 4 酒代
2 被服費	1 衣服料 2 裁縫費
3 燃料	1 薪炭油費 2 燈火費
4 住居費	1 借地料 2 借家料 3 修繕費 4 器具費 5 雜品費 6 庭園費
5 租稅及保險契約費	1 租稅 2 給金 3 保險金
6 衞生費	1 醫藥 2 散策費 3 湯賃
7 教育費	1 月謝 2 新聞雜誌費 3 圖書費 4 筆紙墨文具 5 教育積立金
8 交際及慰安費	1 車代 2 贈物費 3 宴會費 4 通信費 5 慈善費
9 臨時費	1 婚姻 2 葬祭

◎泰西婦女訓

○何時も笑面で主人をあしらふ婦人は必ず美人ならずとも暗黑なる家內に光明を放つ能力ある也

○婦人の笑面程世界に强大なる勢力を有する者無し天は世界の指導者たる資格を婦人に與へたり

○神々しき婦人の笑面は人生の鐵鎖を輕くするの力あり之に近くは恰も和氣暖風を迎ふるが如き也

○喜ばすは婦人の天職なり人の身體精神行狀氣風を美しくするは婦人の勤むべき第一義なりと知れ

○世に勞せずして樂まんとする程懦弱懶惰なる者なし世に働かずして得られたる所有物なる者無し

○努力と忍耐と奮勵と服從と元氣と辛抱とは婦人が事を成すに當りて必ず缺くべからざる要素なり

○勇敢なる母は勇敢なる國民を生む兵士が長上に服從するは一に膝下に於て母より受けし教の賜也

○國家をして眞個に價値あらしむる所以は其國土の大小にあらず一に其國民の品性如何にあるなり

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

愛國婦人會記事

◎新年の評議員會　一月十一日例年の年始互禮會を兼ね評議員總會及東京支部幹事會を開く。

○有功章贈與　左の人々は本會に對する、功績並に金員寄贈により昨年十二月廿七日閑院宮御殿に於て總裁殿下より有功章の御親授を受けたり

一等有功章　子爵鳥居忠文　大島光利

二等有功章　渡邊源子、仁杉歌子、仁尾繁子、吉村よし子、吉村甚兵衛

◎支部長並に評議員新任　左の諸氏は地方支部長及び評議員を囑託せられたり。

福井支部長　阪本急子、福井支部評議員侯爵夫人松平節子、大阪支部仝藤田富子、京都支部仝半井佐賀子、同西村シナ子、同鳥海若菜子、同石井賤子、同山川常盤子、同山田ゑ子、千葉支部仝田村みつ子、同瀧川竹子、同荻生とみ子、同千葉美津子、同茂木ツヤ子、長野支部仝小阪しげ子、同宮澤いく子、同河島初子、同鳥羽松枝子、同吉山いく子、青森支部仝齋阪勝子、同津川幸子（以下次號）

○本年度本部豫算　年末決議を經たる豫算は左の如し。

◎明治三十八年度收入豫算

一金拾四萬七千百五拾貳圓　總收入額

内

金拾參萬四千圓　會費收入
但規準以内會員十九万人會費の十分の七

金五千百四拾五圓　賛助員納付金
但新入一万四千七百人分の十分の七

金八千七圓　雜收入
但定期及當座預金利子其他

外に

一金參萬參千六百圓　基本金へ受入高
但規準外會員十六万人會費の十分の三の十分の七

以上の外寄附金は豫定し難きを以て本豫算外とす

◎明治三十八年度上半期

經常費豫算

一金貳千參百參拾圓參拾四錢　總額

内譯

金千六百拾五圓　給料及手當
金貳百七圓五拾四錢　借地料
金參拾圓八拾錢　辨當料
金參拾六圓　器具費
金六拾九圓　筆紙墨費
金百參拾貳圓　郵便電信料
金六拾圓　廣告費
金六拾圓　雜費
金百貳拾圓　車代

明治三十八年度臨時費豫算

一金壹萬九千九百九拾六圓五拾錢　總額

内譯

金參千五百貳拾貳圓五拾錢　印刷費
金壹萬貳千貳拾四圓　徽章製作費
金四千四百五拾圓　擴張諸費

以上の外救護に關する支出は臨時別途豫算として評議員會の議決を求む

◎寄附金披露　其後本會への寄附金は左の如し。

一金貳百五拾圓　日本橋區　吉村甚兵衛
一金百圓　子爵　青山幸宜
一金百圓　日本橋區　竹尾タミ子
一金七拾圓　布哇　本派本願寺コナ布教場
一金六拾圓　英人　リチヤドソン及其友人
一金五拾圓　日本橋區　笠原彌五郎
一金參拾五圓　男爵夫人　尾崎八重子
一金貳拾五圓　神田區　吉村佐平
一金貳拾壹圓　千葉　飯田秀之助外十四名
一金貳拾圓　富山　久德清子
一金拾五圓宛　麹町區　佐久間精一　深川區　日向野善太郎
日本橋區　平光茂兵衛　京橋區　鈴木重恒
大阪　平川潤亮
一金拾圓　大阪　勝木相定
一蘭貨貳拾夫及露金貨貳個　和蘭國　ドツヘアブラット新聞社翻譯員エル、ハールツルト、ファン、デン、ドールン男爵
此換算金參拾壹圓五拾六錢

右の内笠原彌五郎氏の分は日本橋區大ろじ亭に於て慈善興行を爲し其收益の内を寄贈せられたるもの。又飯田秀之助外十四名の分は同氏次女今回結婚に際し膳部の引菓子料を纏めて寄贈せられたるものなり。

會告

今般本會に於て陸海軍出征軍人慰問の微意を表する爲め繪葉書數萬枚を寄贈致度と存候就ては會員有志の方は本月中に百枚以上幾枚にても百枚金四拾五錢の割を以て御寄贈方御申込被下度候然る上は一々寄贈者の姓名を印刷せしめ戰地に相贈り可申候也

明治三十八年一月　愛國婦人會本部

○總裁殿下よりの感謝狀　元支部長同顧問へ總裁殿下より感謝狀を贈與あらせられし者左の如し。

元岩手支部長　北條菊子　元愛媛縣支部長　本部千代子　元廣島縣支部長　德久張子　元三重支部長　古莊志佳子　元岩手支部顧問　北條元利　元愛媛支部顧問　本部泰　元廣島支部顧問　德久恒範　元三重支部顧問　古莊嘉門

○本會の出征軍人慰問品　繪葉書數萬枚寄贈の事を前號に報導せし處各地より寄贈せらるゝもの多く既に四萬枚餘の申込ありたるが一月卅一日限り締切りにて廣く募集の方法を採るべくにつき上にかゝげたる廣告の趣により寄贈せられん事を希望す。尚繪葉書には總裁殿下の御歌のみとなし會長よりは拙詠を恐れ入るとて辭退されたるを以て會長の分は記載せざることゝせり。

◎奥村刀自　去月廿一日病氣靜養の爲鄕里に歸省せられたり。

○英國赤十字社より寄附　英國赤十字社は本會の事業に賛同を表し英國公使の手を經て此程本會に金千五百圓寄贈し來りたり

○大日本女學會の繪葉書寄贈　本會と關係の厚き同會にては年始年末の贈答を廢し其費用を以て本會募集にかゝる繪葉書壹萬枚を寄贈されたり。

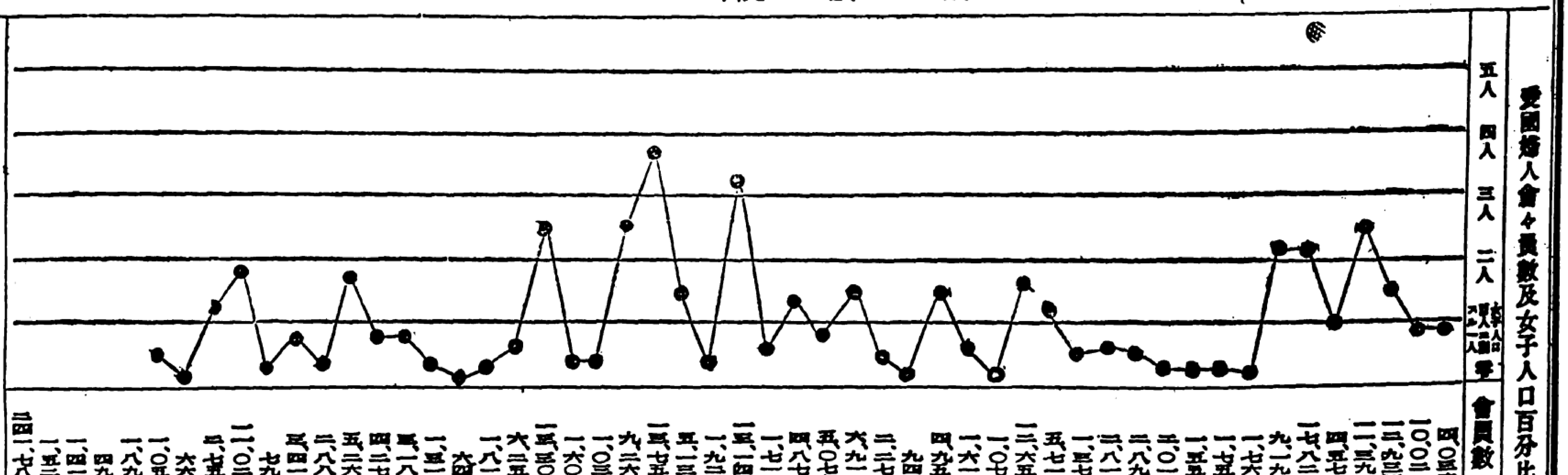
◎明治三十七年會員增加一覽表

○一月　四万六千二百九拾六名
○二月　四万七千三百三拾四名
○三月　拾壹万貳千四百八拾壹名
○四月　拾壹万五千五百五拾貳名
○五月　拾參万八千九百八拾九名
○六月　拾六万六百一名
○七月　拾六万七千百五拾貳名
○八月　拾八万九千一人
○九月　拾九万四千七百三拾五人
○十月　貳拾六万千六百五拾五人
○十一月　拾參万四千四百八拾四人
○十二月　貳拾四万四千八百四拾三人

恭賀新年

愛國婦人會　本部職員一同

愛國婦人會々員數及女子人口百分比較表



支部名	會員數
北海道	四、〇三六
東京	一〇、〇二一
大阪	一三、九二四
京都	一二、三九一
神奈川	四、五七三
兵庫	一七、八二〇
長崎	九、一九九
新潟	一、七六〇
埼玉	一、七三六
群馬	一、五五四
千葉	三、〇一六
茨城	二、八九六
栃木	三、八一三
奈良	一、三七四
三重	五、七一六
愛知	一三、六五五
靜岡	一、〇七五
山梨	一、六一三
滋賀	四、九五三
岐阜	九四五
長野	二、二七三
宮城	六、九一三
福島	五、〇七九
岩手	四、八七四
青森	一、七一五
山形	一三、一四六
秋田	一、九二四
福井	五、一三一
石川	一三、七五九
富山	九、二六五
鳥取	一、〇三五
島根	一、六〇七
岡山	一三、三〇〇
廣島	六、二五四
山口	一、八一六
和歌山	六四六
德島	一、三一三
香川	三、一八六
愛媛	四、二七三
高知	五、二六四
福岡	二、八八一
大分	三、四一五
佐賀	七九一
熊本	一二、〇二七
宮崎	三、七五二
鹿兒島	六六八
沖縄	一、〇五九
臺南	一、八九九
臺中	四九五
臺北	一、四一二
海外	一、五二〇
合計	二四一、七八一

明治三十七年十一月末日調但し月報未着の分は最近報告に依る

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎新年所感

流川生

○新年とは人間の勝手に極めたる時の目印にて、日短く風吹き雪の降るなど、年末と違ひなけれど、新年となつて見れば、流石に氣分改まりて、何となく愉快なるものなり。

○一夜明けてお目出度うとなれば、水も若水、風呂も若風呂と、使ひ古せしものまでが、若く新しく縁起よく見ゆるなり、すべて物は見方によりて好くも惡しくもなるものなり。

○松飾りをなし、雜煮を食べ、紙鳶を揚げ、羽子を遣るなど、新年は先づこゝらより訪づるゝが如し。斯る習慣には科學や算盤の與へさる趣味あり喜悅あり、保存せざるべからず。

○新年は一種の符號なり、呪なり、新年といふことが、氣分を新にし、元氣を盛返さしむ、新年となつても、元氣も出ず、働く氣にもならねば、新年甲斐もなきことなり。

○何の新年が、馬鹿々々しいとけなす人あれど、我等は新年を勇ましく迎ふる連中なり。お休みて遊べるが故にあらず、餅が食へるからにあらず、新しき活動の門出としてなり、今年は一つ遣つて見んとの元氣を振り起さしむるが故なり。

○新。若。始。正。元等は氣持よき字なり、年の始めに於て是等の字は多く用ゐらる。

○婦人も新年らしかれ、願くは、舊、老、終、偏、末等をして、其絕好の形容詞たらしむると勿れ。

○年の立つだけ世は進む譯なり、婦人も進まさるべからず。

○一年短しと雖も、三百六十五日あり、遣る氣さへあらば、隨分仕事は出來るべし、働かざれば百年も何かせん。

○冥土の旅の一里塚などの弱き音を吐くと勿れ、斯る了簡で居るから、元氣が出ぬなり、外所を見よ外所を見よ、爲すへき事は山の如くあるにあらずや、何の暇あつてかまた斯る考に拘ふべき。

◎祖國の教（三韓征伐）

須藤求馬

掛けまくも綾に尊き、神功皇后は、軍旅の道を後昆に垂示へさせたまへり。夫の熊襲の叛服常なきや、我が西州の軍民其の毒害を蒙ること誠に大なり、つひには仲哀天皇の御親征まで煩はし奉りつれど、未だ膺懲の本意遂げさせたまはて崩じたまへり、此の時に當り皇后は熊襲のかくも頑强に抗敵するは、必ず之が後援あらんと察し給ひ、それを征せば、熊襲は伐ずして自から服せんものと思召され、乃ち大策を定め、新羅御征討と決せらる、其の出師の時に當りて、御用意のいかにも周到なる、申すもなかなか愚かなれど、先づ神に祈禱を捧げて加護を仰がせられ、次に河魚を釣して吉凶を占ひ、爰に又吉日をト定せられ、廟算既に勝ち、乃ち御躬に男裝をなし、親ら三軍に誓ひ令したまはく。

一金鼓節なく旌旗錯亂るゝときは、士卒整はず。二財を貪りて多慾、私を懐いて内に顧みなば、必ず敵の爲に虜れなん。三敵少くとも、なあづりそ。（勿レ輕）。四敵强くともなおぢそ。（勿レ屈）。五奸暴をば、なゆるしそ。（勿レ聽）六自から服はんものはなころしそ、（勿レ殺）。七戰勝たんものは必ず賞あらん。八背走らんものは自から罪あらん。

かくて三令五申三軍に約束し乃ち發す。船艦舳艫相啣み、順風に乘じ櫨檝を勞せず、便ち新羅に到る、新羅王遙に艦隊の海を蔽ひ、旌旗翩々日に耀き、鼓聲天地に震ふを望みて、戰慄きて曰く、非常の兵至れり、吾れ聞く東方に神國あり日本といひ、亦聖主あり天皇といふ必ず其の神兵ならん、豈敢て拒がんやとて、即ち素旆をあげ面縛して降る、皇船の前に叩頭きて、長へに飼部（奴隷）と爲り、每年必ず朝貢を絕ずと誓へり。時に新羅王を誅せんといふ者あり、皇后乃ち曰はく、初め神の敎を承けて、金銀の國を授けんと又三軍に號令して曰く、自から服はん者はな殺しそと、今既に寶國を獲つ、亦人自らも降服ひぬ、之を殺すは不祥」とのたまひて、やがて其の縛を解き飼部と爲し、遂に國都に入り、秋毫も侵す所なし、高麗百濟も風を望みて亦來り降る、因て內宮家（今の總督府）を置き、一兵に衂らずして凱旋したまへり。時に皇紀八百六十年（支那三國爭雄時代、西洋紀元二百年耶蘇敎徒第五回戰爭二年前）なり。是より西州亦靜かなり。

世界に於ける大事業は悉く勇氣を以て築き上げられたり今日の幸福は過去に於ける偉傑たる歷史の成果也

第五回內國勸業博覽會一等賞受領

畏こき邊りの御料に召させらるゝ
完全無鉛 高貴御化粧料

登録商標

御料 御園白粉（みそのおしろい）

濃。薄化粧白粉　御園の雪　金七拾五錢　金參拾五錢　金拾八錢
うす化粧水製白粉　御園の月　金貳拾六錢
洋風化粧粉製白粉　御園の花　金拾錢
洋風化粧下クレーム　御園の蕾　金拾錢
特製貴功化粧水　御園の露　金拾貳錢
懷中化粧打白粉　御園の撫子　金五錢
濃原特製あれなをし　四季の花　金拾錢

賣捌◎全國小間物化粧品店

製造元 東京芝櫻川町 胡蝶園
發賣元 日の丸扇石鹸本舖內外小間物化粧品問屋 東京日本橋橘町四丁目 丸善商店 ◎特電話浪花四四八
說明書御申越次第送呈

登錄商標

衛生化粧品
日の丸扇印ムスク石鹸
純良中性、擅析機械煉。模範石鹸

一號 大形一箇 金廿錢
二號 小形仝 金拾錢
三號 懷中用一枚 金拾錢

三號は軍隊慰問用に適す

●日の丸扇ムスク石鹸は中性なるが故に肌のあれる事なく皮膚を艶麗ならしむ

●日の丸扇ムスク石鹸を使用せば愛すべき「スミレ」及高貴なる麝香馥郁として五日間身邊に薰りを保ち常に精神を爽快ならしむ

◎石鹸試驗法…少量の石鹸と酒精を試驗管に入れ少し熱を加へ振動する時は純石鹸は溶解透明し澱粉等の混交物あるものは混濁して沈澱を生ず

◎本品は化學上峻烈なる試驗藥フエノル、フタレインに毫も反應を呈せざる本邦唯一の中性完全なる模範石鹸也

◎續けて石鹸は上等程輕く且つ溶け易し故に水のきれよき石鹸入を用ゆべし

全國化粧品小間物店にて賣捌中候

發賣元
東京市日本橋區橘町四丁目
御園白粉發賣元內外小間物化粧品問屋
丸見屋號 丸善商店
電信畧號〇ミヤ 特電話浪花四四八番

登錄商標 高木

官許 懷中要藥 清心丹（せいしんたん）
本舖 東京元大坂町 高木與兵衛

本劑は近頃同名又は類似の藥各地に夥多相見え候に付人魚の商標と高木の名稱篤と御認の上御求めあらんとを乞ふ

大日本女學會編纂
家政百箇條
去十二月廿五日發行
正價金貳拾五錢
全國無遞送料（郵券代用不苦）

本書は我が大日本女學會に於て女學講義を始め多年諸種の女子讀物を編輯するに當り諸名家の講義說話中より家政の法則となるべき事どもをそれより摘記せしに漸く積りて百箇條三百六十七項となりたれば纒めて一冊となし家政百箇條となづけて發行したるなり書中に收むる所料理の鹽梅漬物の加減裁縫の寸法割合洗濯汚點拔の方法衞生敎育禮法の定則より家庭に關する諸法令に至るまで日常必要の規則一わたりは網羅したりと信ず本書發行の趣意は戰國の際能く家の法則を心得て家內に無駄を生ぜしめず以て堅忍持久の覺悟を十分ならしめんとの微衷に出づされば其價を低廉にして專ら普及に力む幸に微衷を諒し本書を以て座右の友とせられん事を切に家庭の主婦達に望む也

東京市麴町區下二番町三七
大日本女學會事務所
電話番町千三百三十番

女子高等師範學校教授 文學士 下田次郎氏著
女子敎育
菊版七百九十二頁 定價金貳圓

本書は女子の身體及び精神の研究を基として、新女子敎育を說けるものにして、歐米女子敎育の歷史及び現況亦詳述せらる、實に本邦未曾有の大女子敎育書なり、同事を異語もて記せる千篇一律の女子敎育中、意見の卓拔材料の新鮮豐富なる他に其類を見ず、されば女性にして自らを知らんと欲する者、女子を敎育する者、世界女子敎育の大勢及び女子研究の程度を知らんと欲する者は、本書を措て其要求を充すこと能はさることを確言するに躊躇せざるなり

發兌元 東京市日本橋區本町三丁目十七 金港堂書籍株式會社

恭賀新年
寫眞撮影 淺草公園 江崎

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

小説

◎春の姿

中村春雨

く

明けまして御目出度う、私も今茲は六十一の賀が來ました、鏡に向いて見て今更のやうに、よくまアこんなお婆さんになつたもんだと感心しましたが、それもその筈さね、いろは歌牌を取つてよく喧嘩をしてその度、讀み手の私が仲裁役で蜜柑を三つ宛上げて、仲よくお遊びよと賺した兩人が今日ではもう、髯の生えた旦那樣と、丸髷の奥樣とになつて、四人のいろは歌牌の連中にお父さん、お母さんと呼ばれてるやうになつたんだものね、それでも、もう一番の兄さんは追々百人首の組に入つてまぜかへしたがる事だらうね、早く皆の顔が見たい、末のも餘ッ程成長くなつたらう、櫻の咲く頃に、祝の験事が仕度いから、是非一家内中で歸つて來てお呉れよ、寫眞では我慢が出來ないからね、小包で送つてくれた福壽草、難有う、床の上で福々し相に咲いてゐます、皆へよろしく

母より

…………………………

新年の御祝を申上げまする

兄さん、姉さん、東京のお正月はさぞ賑かな事でせうね、新聞で見ますと歌舞伎座で羽左衛門と高麗藏の芝居が始まりますつてね、歌舞伎座の寫眞は何日か送つて下つた東京名所圖繪の中で見てよく記臆えて居りますが、當町の警察署なんか、百倍めても適ひませんねえ、三井の賣出で姉さんのお買ひなすつたと云ふお召の春着が拜見したうございますわ、私なんかざら〳〵する木綿物許着てゐて、年中眞黒になつて働くばかり眞實に田舎は正月だつて何の面白い事一つもありやしませんわ、アヽつまらない、今夜の初夢に、東京の夢でも見ませう……………………田舎の妹より

…………………………

賀正、……と書いて例の如く新玉の春を祝し奉る譯だが、そのお春さんの莞爾々々した笑顔はまだ臺灣か、琉球あたりの人々へ愛嬌ふり蒔いてる頃なんだらうから、東京邊もお冬つ子の冷い白い足がちら〳〵見えてる事だらう、北海道の、その又北の果の、根室の國根室港の住人たる僕は今や當に雪と氷の牢獄の中に嚴重に禁錮申附けられてる次第さ、正月どころの騷ぢやない、春のはの字ほどの氣持もするぢやアない、氷の山のやうな千島の方からはびゆう〳〵鳴つて、骨も肉も一時に凍み破れさうな凄い寒い風が間斷なしに吹いて來るし、後の山では海嘯のやうな雪なだれがするし、石油が氷る、酒が凍る、これぢや火事も凍りさうだ、イヤハヤ、愚痴ばかりこぼして失敬、これでも乾鮭だけは本場で、先便で發送した、賞翫してくれ給へ、酒の塊を嚙んで遙に君が一家の健康を祝する…………………………根室の友人より

…………………………

謹賀新春、………………

網を干した裏庭に、黄色な柚が綠の葉に照り映えて、春のうらゝかな日の光に輝いてるやうで、風も穩かに、港には碧玉を溶かしたやうな波の上に白帆の影三々五々、鴎が翼を擴げて列んでるのではあるまいかと思はれる、島の春は、眞に或る新なる感興に、わがわかき胸の血を波立たしむるものがある、色は潮に染んで黑く衣は魚の血に汚れてはゐるが、まだ都の輕薄の塵には浸まぬ蜑乙女も戀と詩の材料に適せぬと云へまい、唯、歌牌仲間のないのが正月を淋しく思はしむる一の原因だらうね、決して失戀の故ではないよ、あんな輕薄な都女は、もう僕の頭の中に、夢ほどの印象をも留めてゐないからね、令室へよろしく　島守より

…………………………

兎に角無事で一年生延びた、お目出度い譯ぢやアないか、明日の事は誰だつて分らぬ、今日は是から鰯を燒いて一杯やるんだ、お坐敷は穴の中、萬歳……………………戰地の友人より

◎小蛇と鷲　（童話）

牧童或時一羽の鷲の岩角より高く虚空に飛び翔るを見しが、間もなく飛行の勢鈍ぶれ、右の翼を畳むと思ふ間に、左の翼も動かずなりて、あはれ地上に落ちてけり、牧童走りて之を捕へしが、其の岩角に休みし際、少さき蛇の其躰に巻きつきしも、鷲は之を知らで、飛びあがりしに、蛇は次第〳〵に翼を繞りて取り纏はり、又深く其肉に食ひ入りて終に地上に落したりと云ふ。巳の年に因みて吉慶の話ならずや。

恭賀新年

醫師の勸告により病氣治療の爲め歸省中につき年始の禮を欠き申候

卅八年一月一日

在唐津　奥村五百子

恭賀新年　愛國婦人記者一同

恭賀新年　本部事務員　龜岡豐藏

恭賀新年

（ラクダ印）

ラクダ印麝香石鹸（麝香石鹸）は高貴なる麝香に愛すべき「スミレ」の香料を多量に含むが故に浴後使用せば其香氣身体は元より手拭タオルハンカチーフ及び浴後のゆかたに至るまで移りつ香いたし五日間は該部としてかほりを失なはざる効力は舶來品にも未だ見ざる一大特點を有す

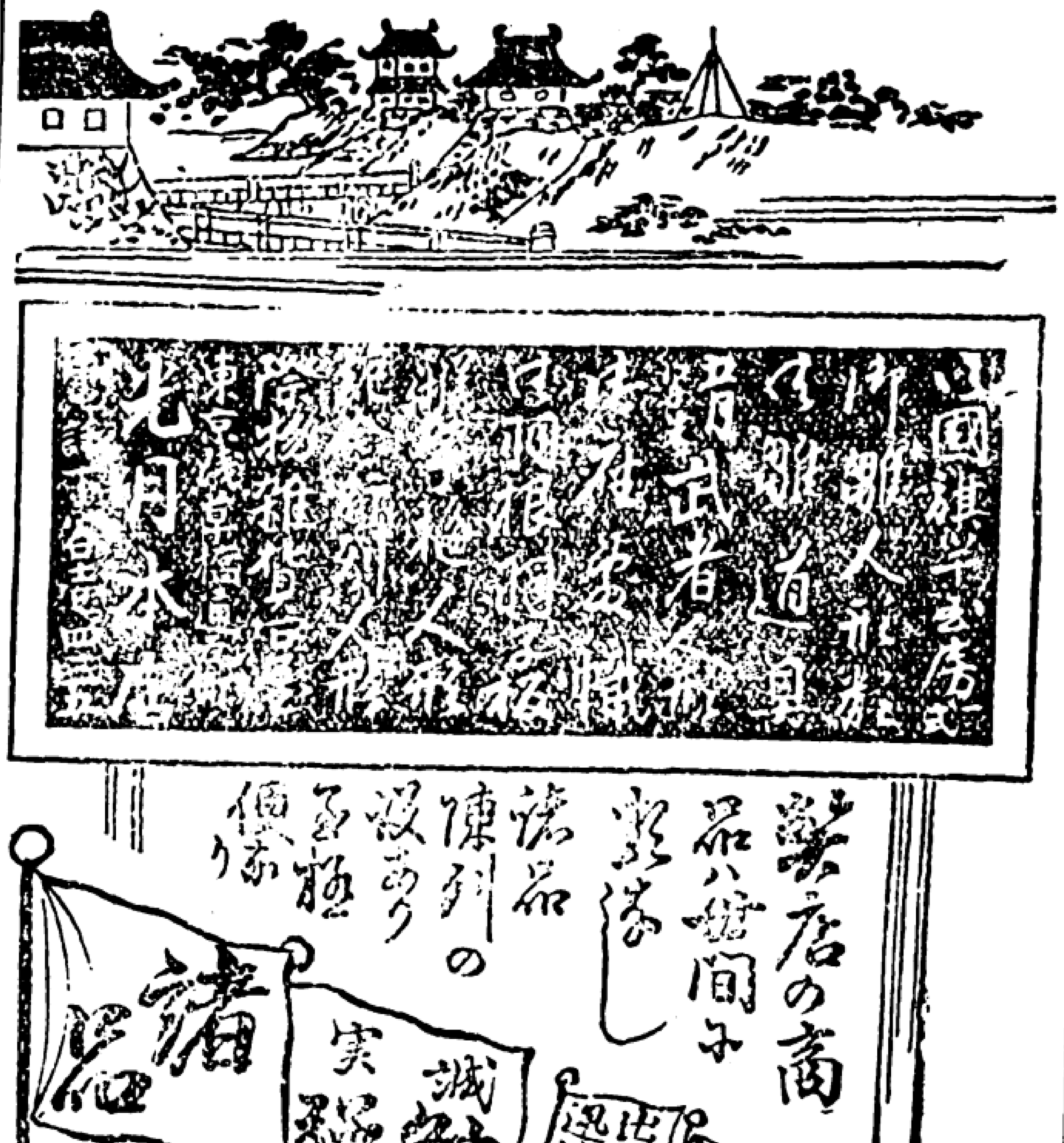
○定大形廿錢　假小形拾錢

熱心勉强なる和洋小間物化粧品店にて必ず販賣せり

近來類似品有「ラクダ印」と井上に御注意

東京本石町三丁目十八番地芳香藥種問屋　井上太兵衛

恭賀新年



恭賀新年

米國醫學博士ジヤス氏發明藥　齒藥之王

日本諸大醫實驗頌讚功能保証

一六散

齒の痛苦に止る保証
齒の腐蝕崩碎を止る
齒の熱を去る
齒の動きを能く締る

價拾錢廿錢送料貳錢
各藥店に取次
齒にならず口の荒も共に治る吞でもよし
東京木挽町九丁目八番地　木原山石室藥房

登録商標　金線草丁幾

●るいれき（其他結核性の）療法は本藥服用に限る

製藥本舗　東京神田區鍛冶町三〇　東光堂
特約　日本橋區本石町　熱田彦兵衛
販賣　同室町三丁目　島武商店
外各地藥店取次販賣す

●定價一磅入（約九十日分）金三圓、遞送費二十錢▲半磅入金一圓五十錢遞送費十五錢
●金線草私言發見と其効能并に醫士の報告患者の實驗等は本書に詳か也（定價郵税共十二錢）

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎寫生小說　妖怪

糸左近

「先生が昨年十一月三日の「愛國婦人」に御掲げになつた「不思議」を拜讀いたしまして、私も一つ不思議の判斷をして頂かうと存じ、早速參りましたので御座います、御繁忙の所甚だ恐れ入りまするが、何うか御聞届を願はれますまいか。』名刺を見れば赤川小學校訓導松野綠、年齡は三十七八位の智慧盛、筋骨逞しく色黑く、眼大きく聲長く、生れて以來醫者には用が無いといはんばかりの魏然たる大丈夫。『あれは衞生談を小說にしたのです、私は醫者でこそあれ、左樣な不思議の判斷などは、固より出來ます筈はありませぬ、が併し折角の御出ゆゑ、何ういふ事柄か一應承はりませう。』『されば斯うなんで御座います、御存知の通り小學敎員といふ薄給の身では、少し高いお家賃は出し兼ますし、それに何分子供が多勢居ますものゆゑ、昨年の暮、妖怪屋敷と名の附いた借人の無い家を、妻にも承知させて、態々借りましたが、幾月と日を重ねますけれど、唯丈夫であつた妻が僂麻窒斯になつた外は、何等の怪しいこともありませぬ、て私も、朋友などに對つて、今までの借家人は皆臆病な奴だ、今の世に妖怪のばの字もゐるものか、現に角間數が大小五つ、庭は廣くて樹は茂り、加之に泉水まであつて、それで四圓五十錢とは、無代で居るやうな話、君等羨ましくは無いかなど、自慢してゐましたが、先月の廿日、知己の出征送別會に行きまして、夜の十二時頃に歸宅いたしますと、豈圖らんや、妻は氣絕同樣、何うした〳〵と抱き上げて、勢をつけながら尋ねれば、異樣な顏して、わな〳〵戰ひながら一刻も早く、此處を引越しませう、今晚良人の御歸りが遲いものですから、子供達を寢かしつけて、色々な事考へながら待つてゐますと、椽側の障子が、パッと明るくなる、さて不思議と眺むれば、パラリ〳〵と障子の紙に音させて、亂髮の女の姿が映るんですもの、嗚呼映るんですもの、妾は思はず突伏したきり、後は何事も覺え無くなつて了つたのです、そゝそれ彼處に姿が見えるやうぢやありませぬ、かといふ、流石の私も餘り善い氣持は致しませんでした、彼是してゐる中に夜は明けましたが、これより妻は猫の首が見ゆるとか、河童がゐるとか、色々な事を申しますから、今日まで方々のお醫者に診し貰つてゐますが、日に日く衰弱するばかりで御座います。』といふ恐い話、讀者諸君、これを何と思召すか、大方恐い處だと思うた神經作用であらうと言はれませう、が併し醫者の目から視ると、外に大原因があるのです、即ち中等社會には左程必要無いけれど、上等生活と貧乏世帶との人々が大いに注意せねばならぬ衞生談に歸するのです何でせう、（それは次號に）、

寄贈毛布

（出征者に代りて）　若草

其一

冬の鬪魔うらさびて
目もはる〳〵と、荒にし枯野。
刄を研ぐ霜の華、
立つや、氷の劍の穗尖。
胡沙吹く笛の、何處より
野營に響く、二聲三聲、
片鎌月の、ほのくらき
夕空渡る、ゆかし雁が音、

其二

雁の音信かりならで、
心も厚き毛布の包裝。
白きは、潔き其人が、
赤きは、燃ゆる熱血の色か。
我か同胞の、溫かき
同情の光、和きさして、
荒び猛夫が、荒びにし
睫毛に宿す、珠成す露を。

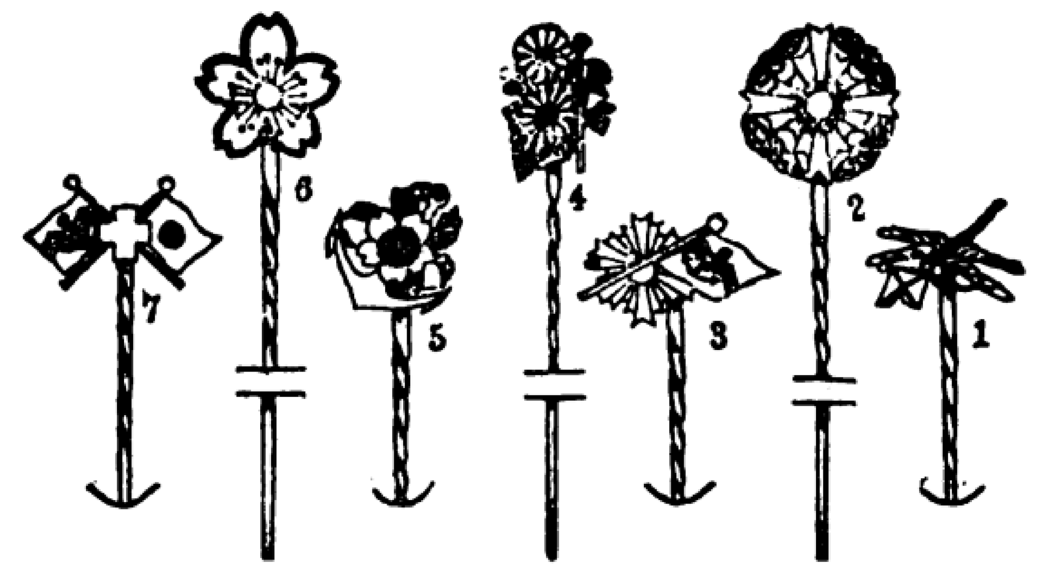
其三

進軍千里、矢叫びの
西比利亞風、身を劈く夜半も、
曠野の篝火、焰なく、
雲と矢玉と飛び交ふ中も、
國に盡さん一筋の
眞情包み、夢溫かに、
いざや眠むらん、吾が友と、
いざや過なん、故郷人と。

青柳菊　大和屋

特別製　參拾五錢
大瓶　貳拾錢
中瓶　拾錢
小瓶　六錢

恭賀新年
戰捷紀念ピン



(1) 蜻蛉形　銀臺金消　二十五錢
(2) 大勳位　銀七寶入　卅五錢
(3) 海陸軍　銀臺金消　二十五錢
(4) 軍旗形　銀臺金消　二十五錢
(5) 海軍形　銀臺金消　二十五錢
(6) 陸軍形　銀製七寶入　三十錢
(7) 赤十字　銀製金消　二十五錢

此の品は男子ネキタイ用婦人襟止ピン兼用仕候尙ほ戰捷を象れる指環帶留簪並に新春の髮かざりるい新式の意匠に成れるもの各種取揃へ候に付御光來の上御用命あらんことを

東京市京橋區尾張町
白牡丹本店
電話新橋五五一番

●御進物用小間物切手調進仕候

武本忠代藏著　小崎弘道序
病林の慰
定價卅錢　郵稅四錢

著者本書の初に序して曰く現時滿洲の野に於ける我軍大勝の裏面には父を亡へる兒夫に先立たれし妻偕ては餘命を保つて氣息奄々たる幾多傷病者の横はりつゝあるを固より邦家の爲とは云へ人生の慘事也悲哀の極也誰か彼方を慰むるものぞ誰か彼等に神の攝理と死生の眞義を敎ゆる者ぞ爰に於てか此著あり敢て江湖に薦む

發賣　東京市京橋區尾張町二　警醒社書店

恭賀新年
第五回博覽會賞牌受領
各博覽會共進會賞牌受領
美術貴金屬指輪

彫刻指輪
純金二十圓より
廿二金十七圓より
十八金十六圓より
同金小形八圓より

寶石入指輪
ルビーサハヤ眞珠ヲパール
一ケ入金五圓より
二ケ入金十圓より
三ケ入金十二圓より
數入金十五圓より
ダイヤモンド入金二十五圓より

純金無地槌目指輪
二匁付金十二圓
三匁付金十七圓半
四匁付金廿二圓

印形指輪
廿金二十五圓
純金廿八圓
十八金廿三圓
送料實費

東京京橋區南傳馬町三丁目
奥田屋
美術裝飾小間物商　奥田商店
電本四五二番

恭賀新年
品質純良
意匠嶄新
染色注意
神田區表神保町（小川町通り）
伊沢呉服店
電話本局二三一七

しらが染る人に告

定價小瓶一組五拾錢中瓶一組壹圓送料十錢（媒染液揚染液）は獨逸國醫學博士ピース氏の新發明になり從前有ふれたる白毛染粉とは異り使用方は極簡易僅々十分間に眞美黑色となり數月間不變化の功力を有し皮膚に無害なるは小店の保證する所也白毛赤毛の方は御試用の上不思議の功能を知られよ明細書希望者は郵券二錢封入申込あれ
發賣元　東京市京橋本材木町三ノ四　岡田商店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎戰況

◎陸軍の方面　武勇絶倫なる攻圍軍は猛烈不撓の攻撃に因り旅順口の死命を制すべき二百三高地が我軍の有に歸せしより港内敵艦隊に對し攻城砲丼に重砲を放つて攻撃を逞ふせし結果遂に敵艦の主力を全く滅亡に歸せしめたり然れとも金城鐵壁たる要塞の全部陷落はまた多少の時日を要すへきも攻圍軍は尚引つゞき老鐵山と旅順との交通遮斷に努めつゝあれは本日頃は多分全く其目的を遂せしならん尚沙河方面對陣中の我軍は其後の用意いよ〳〵調ひたれは何時にても攻勢に向ふべき手筈なりと云ふ

◎海軍の方面　旅順港の封鎖は昨年五月一日以來間斷なく封鎖を櫂行せしが陸軍の敵艦隊砲擊を助けて水雷艇の奮擊に依り終に旅順艦隊の主力滅亡に歸したるを以て昨年々末其封鎖の一部を撤退せしとの公報ありたれば大に英氣を養ひ遠來の波羅的艦隊を待ち受け之れが擊破の用意に怠りなかるべし

雜報

◎三十七年中の女子教育界の狀況

◎女子高等師範學校　昨年中に於ける重大なる出來事は十一月廿九日に開校三十年紀念式を行へり當日は皇后陛下より二百圓の御下賜金ありたり尚時局に對しては軍隊用のシャツボンを裁縫せり其他附屬高等女學校にては廢尾の陸軍豫備病院に至り運動會を催し病傷兵を慰めたり

◎華族女學校　同校に於ける昨年中重なる出來事は春秋二期に運動會を開き二度共に皇后陛下御台臨あらせられ春期運動會にはマギー夫人も來觀したり秋期には久保田文部大臣も臨場し服裝の質素運動方法の整出たる事等について稱贊の辭を陳へられたり其他卒業式には皇后陛下御台臨あらせられたり尙紀元節天長節等には職員丼に生徒に御下賜金ある例なるが昨年は其御下賜金を以て木綿を買受け職員生徒一同總かゝりにて繃帶を製造し其筋に獻納したり

◎成女學校　昨年中の重なる出來事は校長吉村寅太郎氏辭職して山根正次氏校長となれり十一月三日には例年の通り紀念會を開き恤兵の爲にバザーを開設し其收益百圓を恤兵部に寄贈せり尙本年は校舍を新築し高等女學校の認可を受くる計畫のよし現在の生徒は百拾人なり

◎女子商業學校　一昨年十一月新設せし同校は昨年中に於て大に發達し卒業生をも出だしたるが其卒業生の成蹟を聞くに各銀行會社に簿記方として傭入るゝもの多くまた修業中の生徒さへ實地研究を兼ね會社に雇はれ居るものさへありと云ふ

◎三輪田高等女學校　同校は本會評議員なる三輪田眞佐子女史の獨立經營に成ると爲文部省令に由る高等女學校なるを以て設備等も完全なり即ち普通教室の外に理科、音樂、裁縫、畫學等の特別教室あり尙屋内體操場、料理實習場も新設せられぬ時局に對しては先きに海軍經理部へ靴下五百足を寄贈し亦陸軍のため冬衣服竝に夏衣服をも裁縫し其のため得たる報酬を恤兵部へ獻納す更に職員及生徒擧りて勤儉を行ひて得たる金圓を海事協會等へ寄附する計畫なりと其他愛國婦人會員となる生徒も少からず編物亦は慰問袋等を以て各自軍國婦人の實を擧げんと日夜怠らざるなり特に同校は種々なる原因ありて軍人の女兒のみにても百七八十名もあり現に肝付、西村、原口、中岡、小原、出口、鼓等十二將官の令孃ありと聞くされば一層愛國的精神に富み奉公事業に盡さんと勵はざるはなし

明年度は更に理科等の諸機械を充分に購入し高等女學校にても最も設備の完全なるものとせん計畫にて例に由りて女史の私財を投ずるとかやこれ全く子孫のため美田を買はずとの自論に基き公共のためにせん精神より發するものと言はざるを得ず從ひて亦女史の藏書悉皆を擧げて同校内の圖書室となす筈とかやされはにや文部省中川視學官の如きは同校のため同情を表し多年採集せし礦物七百餘種を寄贈せしとかやこれ德孤ならず必ず鄰ありとの教に戻らずと言ふべし更に年の新まると共に愈時局を教育上に利用して一層愛國心を鼓吹せんとするべしと聞く既に此まで同校に設けある慈善箱よりも別に節約亦は廢物利用にて得たる金錢だに百餘圓あるを以てこれか公共事業のため提ぐるに至るべしと云ふ

◎日本女子大學校　昨年中の重なる事柄は春秋二期に盛んなる運動會を開き大學部の第一期卒業生を出せり當年末に至りて森村豐明會より五万圓餘の寄附を受けたるを基礎として本年に於て師範大學を起し教育家の養成に力を盡す筈なりといふ

◎婦人文庫（家庭に備つけ適當の者閲覽所へ寄贈の分）

書名	價格	著者	發行所及寄贈者
婦人寶典	三、三○○	大日本女學會	大日本女學會
女子教育	二、○○○	文學士下田次郎	金港堂株式會社
我子の惡德	○、六○○	大村仁太郎	同文館
勤儉貯蓄のしをり	○、二五○	民友社	民友社
天氣の話	○、一○○	仝	仝
植物の話	○、一五○	仝	仝
天文の話	○、一○○	仝	仝
地物の話	○、一五○	仝	仝
鑛物の話	○、一五○	仝	仝
動物の話	○、一五○	仝	仝
生活と處生	○、一五○	仝	仝
歐洲見聞錄	○、三五○	仝	仝
思出の話	○、六五○	仝	仝
不如歸	○、三五○	仝	仝
育兒と衛生	○、二○○	仝	仝
名婦鑑	○、二五○	仝	仝

社告

◎本發行所は本部建物の一部を借受け左の規則により本年一月より圖書閲覽所を設け度き覺悟に候規則にも有之候通り無料にて婦人に限り隨意閲覽を許し書籍の出し入れは閲覽者の自由に任す覺悟に有之候

◎建物は手狹に付き多くの書籍を藏する餘地無之候間可成良書を撰びて備へ付け婦人文庫の模範を示し度き考へに有之候

◎藏書は成る可く寄贈を受け漸次蒐集致し度く寄贈の書籍にして婦人の好伴侶たるべく又各家庭備へ付けに適當と認むる者は本紙婦人文庫の欄にて紹介可致候

◎漸次進歩致し藏書の數も增し候へば「巡回婦人文庫」なるものを作り各支部より支部に轉送し會員の閲覽に供し度き考へに有之候につき地方の會員方も本主旨に御賛同の上相當の御寄贈奉願候

卅八年一月一日　愛國婦人發行所

愛國婦人圖書閲覽所規則

第一條　本所ハ毎日左ノ時間ヲ以テ開閉ス
開所　午前九時　閉所　午後四時
但シ時宜ニ依リ變更ス

第二條　滿十五歳以上ノ婦人ハ本所ノ圖書ヲ隨意閲覽スル事ヲ得

第三條　閲覽料ハ無料トス

第四條　圖書ハ隨意書架ヨリ把テ閲覽スベシ閲覽終リタルトキハ必ズ舊位置ニ復スベキモノトス
但シ一時ニ一册ヲ超ユベカラズ

第五條　閲覽室ニ於テハ一切音讀談話喫煙ヲ禁ス

第六條　本所ノ圖書ハ一切室外ニ持出ス事ヲ許サズ

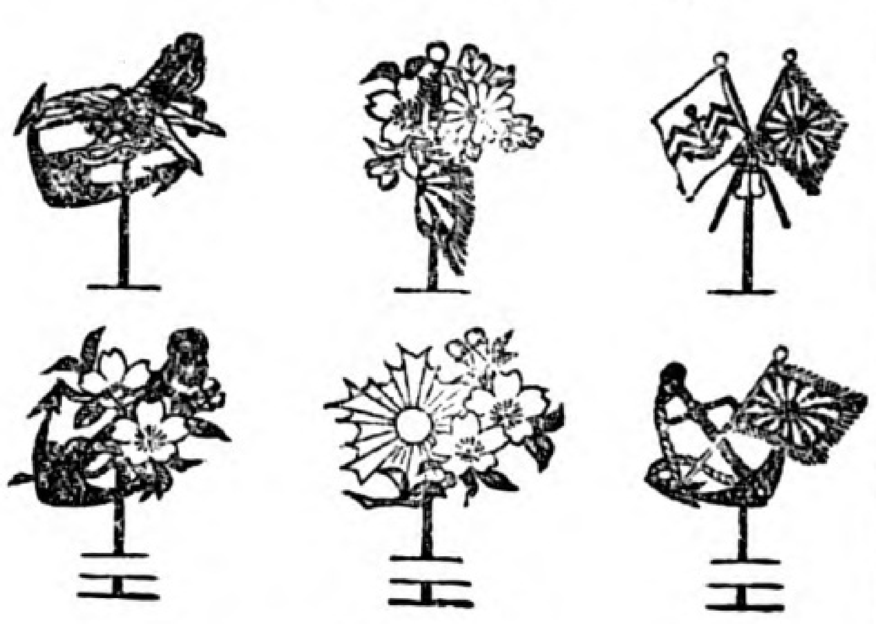
第七條　圖書ヲ故意ニ汚點、毀損、其他不法行爲アル者ハ情狀ニヨリ相當ノ制裁ヲ加フ事アル可シ

第八條　閲覽室ノ監督ハ所員ノ臨時視察と閲覽者相互ノ權限幷ニ義務ニ屬ス

第九條　本所ハ圖書ノ寄贈ヲ受ク

愛國婦人圖書閲覽所

恭賀新年



金銀の地金に七寶の彩色うるはしく圖案は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠に成れるもの世の紳士淑女たちは各その胸間に飾りて此の千載一遇の皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

定價　純銀製一個　金三十五錢以上　餘は御好み次第迅速調製可仕候

手釦は孰れも陸海軍を象れる優美なる意匠を凝らしあれば世の紳士たちは洋裝に飾りて皇軍大勝利の紀念としたまへかし。

此圖案の外陸海軍連勝にちなめる嶄新の意匠を凝らしたる提物澤山出來致居候

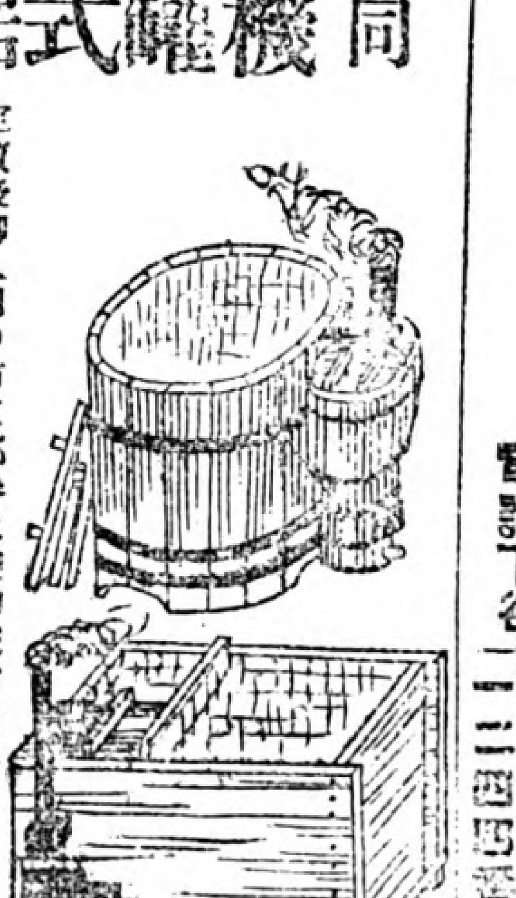
宮内省御用達　東京市下谷區池の端仲町　玉寶堂　電話下谷特九六五番　一二四四番

第五回　賜褒賞

專賣特許竈

同機罐式据風呂

◎湯屋溫泉用釜◎料理店理髮店用湯風呂◎豆腐箱



定價表御入用の方は郵劵二錢御送付あれ

製造發賣元　神田區和泉橋通松永町十八番地　名和商店　電話浪花千百七十七番

日本橋區蠣殻町二丁目十五番地　名和商店

良藥にして口に甘し

從四位淺田宗伯先生直傳　淺田飴

定價　金五拾錢　金參拾錢　金貳拾錢　金拾錢

本家　東京神田鍛冶町　大阪北久寶寺町　堀内伊太郎

本品ハ國到る處の藥店に販賣す

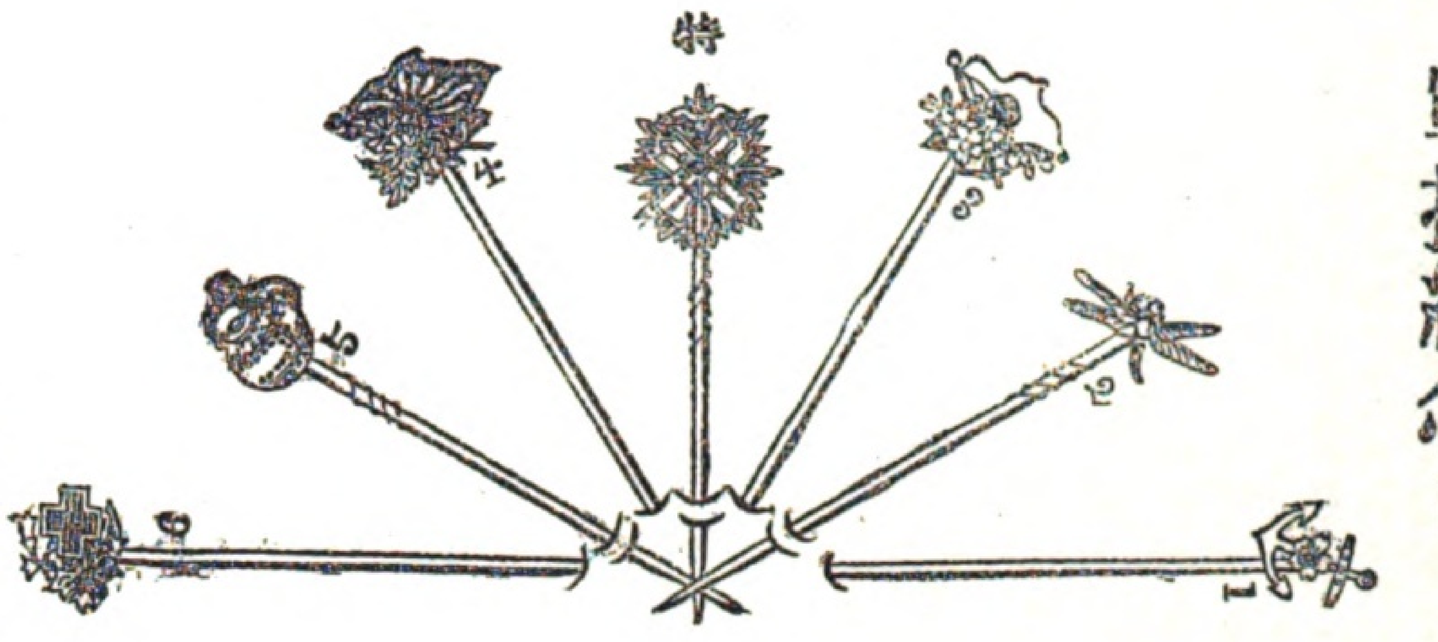
東京市日本橋區通一丁目　合名會社　森村銀行　電話（特）本局六七三番

定期預金　六ヶ月以上　年五分三厘
當座預金　百圓に付日歩　八厘
特別當座預金　同日歩　壹錢壹厘

神田區西今川町三番地（電話本局三拾一九）
内科病特に腦脊髓神經疾患
峰内科醫院
院長　ドクトル　峰秀也

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

戰捷紀念ピン……男子ネキタイ用 婦人ショール留



(1)海軍形 銀製 金三十錢
(2)蜻蛉形 銀臺金消七寶 金三十錢
(3)日章旗 銀製七寶入 金四十錢
(特)金鵄形 十八金七寶入 金五圓
(4)軍旗形 銀臺金消七寶 金四十錢
(5)小田式水雷 銀臺鍍金消 金三十錢
(6)博愛形 銀臺消七寶入 金四十錢

送料何個にても内地は十錢 臺灣清韓卅錢

恭賀新年

東京市南傳馬町貳丁目
大西白牡丹
電話本局三十番

毛の髪を縮くする發明案内

謹賀新年

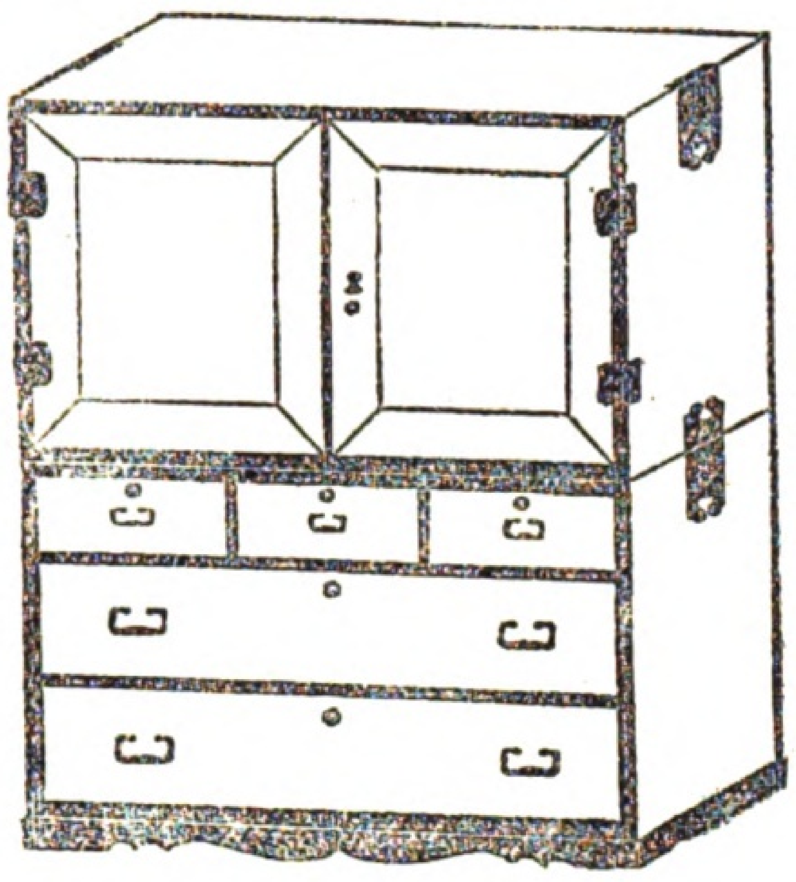
商品畧目
料理庖刀
裁縫用具
諸流生花道具
髮そり鋏るい
経師類新形各種

東京市江戸橋際
今津屋 森田源兵衛
電話本局特三千百三十三番

恭賀新年
南傳馬町三丁目
鶴岡助次郎支店

高等簞笥長持類一式

謹賀新年



蟲害豫防法實施

○御注文に應じ箱類一切入念調製仕候其他御婚禮等御急ぎの節は早速取揃へ御間に合せ可申上候

東京市日本橋區小傳馬町二丁目
長島屋號 **長谷川傳次郎**
電話浪花一千四百三十五番

學習院教授 大村仁太郎先生編述
▲家庭教育の警鐘▼(發賣)

教育寓話 我子の惡德

◎特別美製 全壹冊 定價金六拾錢 ◎郵稅金八錢 郵税代用不苦

天眞爛漫、あどけなき兒童の心意を涵養して善良ならしめんが爲めには主として教師父兄の模範的言行に導かれざるべからず、學校と家庭とは相俟ち相通じ、常にこの心を以て兒童に望むべきなり本書は家庭及び學校の弊風、教育の缺陷、矛盾、各種の惡德を指摘してこれを裏面より描寫し痛切に諷刺したるものにして、その直接たると間接たるとを問はず必ず一讀して反省せざるべからず

見よ讀め
學校教師も
保姆も父も
母も兄も姉も

教師も保姆も父も母も兄も姉も尚も兒童に感化を與ふるものは、その直接たると間接たるとを問はず必ず一讀して反省せざるべからず

(目次の一例)
▲善事を嫌ふ習慣を作る法
▲兒童を強情にする方法
▲頑情なる兒童を養成する方法
▲無器用なる兒童を養成する方法
▲兄弟を不和にする方法
▲父母の命令を輕んずる兒童を養成する方法
▲疑念深き兒童を養成する方法
▲慈悲同情の念を窒息する方法
▲兒童に復讐心を起さしむ方法
右の外二十四項あり

▲發兌元 東京市神田區表神保町(電話本局一五三九番) **同文館**▼

恭賀新年

特許 空氣暖爐 は少量の炭火を以て空氣の作用に依り強烈なる温熱を發する**世界唯一**の暖爐なり

◎本器に一度火を投入せば更に手數を要せず十五時間以内同様の温度を保つ故客室事務室勿論寢室又は病室に用ひ至極妙にして永く室内に置くも火氣にのぼせる憂更になし

特製一個金六圓二十錢
並製一個金五圓四十錢
荷造費箱代 一個四十錢申受候

◎東京大坂京都横濱は本支店出張所へ電話又は「はかき」にて御報次第持参可仕候
本器説明書は御報次第送呈

製造發賣元 東京市淺草區諏訪町(特電話下谷八三二番) **小原商店**
本店 大坂南區安堂寺町御堂筋(特電話東四六二番) **小原商店**支店
横濱市福富町一丁目五番地 小原商店 横濱出張所
京都市四條通東洞院東入 衣川方 小原商店 京都出張所

恭賀新年

かすり類

紺絣各種
其他流行新柄縞物いろ〳〵
大島絣 米澤絣 秩父絣 紡績絣

京屋
神田銀治町大通 電話本局二八四二

(恭賀新年)

弊店リボン部新案
勅題模様 新年の山 **リボン** 一吋巾にて地は山連き白茶、薄霞模様地、色は時、鶯茶、葡萄鼠、古代牡丹、淺黄、藤、日和、曲一尺六錢五厘
戰捷紀念 赤十字 **リボン** 一吋巾にて地は桐に鳳凰模様赤十字連き地色は白、白茶に藤色模様 曲一尺十一錢(郵券代用一割增)

◎右二種は優美高尙なる新案模様なれば御歳暮年玉に適當外に舶來並に和製リボン新着見本送料三十錢御返却の節は現金買戻し

●**謹告** 久しく品切にて御待兼の**東髮用横櫛。タボ留。**其外いろ〳〵漸く着荷仕り候

鼈甲小間物商
神田須田町十番地
三ッ井屋
(電話本局二〇七六番)
◎神保町東明館内支店
◎新橋際博品館内支店

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

恭賀新年

商標登錄既願第七三七六號

國勝(こくかつ)しようる

本品は絹裏製にして最も優美高尚の品に有之候

尚本品は各毛織物店及洋物店に有之候間御一覽被下度候

シルクショール　毛ラッコ織膝掛
ネル地織膝掛　毛布類
フランネル類

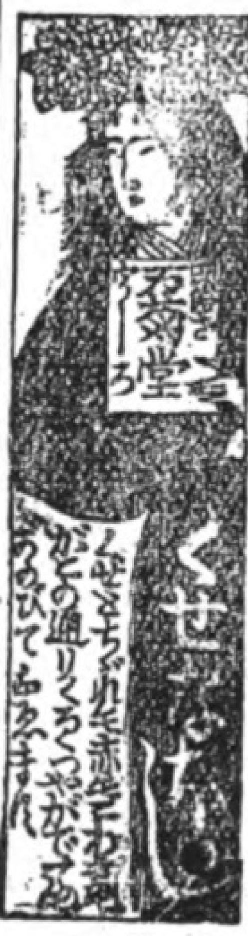
右之通各種新荷着品取揃申候

東京市本町二丁目
中喜ネル店
電話特本局七五〇

恭賀新年

めりんすゆうせん

人形町通住吉町
赤のまきん
おぶそや



恭賀新年

登錄商標 香

○貴婦人令嬢向 手代田草履 貳円以上
○貴婦人令嬢向 东草履 壹円五拾銭以上
○意氣向 江戸子草履 壹円二十五銭以上
○婦人向 新形雨傘いろく

其他諸手種品も沢山陳列致置候尚美術塗台表附新形諸履物澤山取揃へ有之候市内は御一報次第參上負傷為伺候御遠方は引替小包にて御送附可申上候

淺草區茅町貳丁目
香取屋藤吉
電話下谷千百九十二番

西川商舖牛豚肉販賣 謹告

品質佳良無比類　價廉我店所最勉
配達迅速而正確　夏季殊勉其防腐
普通配達日三回　市内何處不厭遠
若有臨時急用事　走自轉車而直辨
地方配達有便法　特勉西洋料理用
請試購而評其味

價格左ニ

牛肉百匁	円
ヒレー	50
ロース	45
ラン	38
ステキ	38
イチホン	38
ヒキ肉	30
ブリスケ	22
ハラスープ	16
スネスープ	20
尾	15
ケンネン	05
舌	42
ケンネン油	14
ヘット	16

豚肉百匁	円
上等	20
並等	18
チヤブ	14
ヒキ肉	16
油	16

恭賀新年
小石川表町廿二番地　電話番町六五九　西川本店
本郷區駒込東片町五番地　電話下谷二二七一　西川支店

恭賀新年、

御勅題新年山 牛ゑり帶揚 景品進呈

○扁箱壹圓に五十錢あり
○肩掛○日本縮○占領ひも○男襟卷○襦袢袖
○羽織片裏○長襦袢○戰捷ネキタイ○頭巾地
○勅題戰捷形帛紗○まげ形チエリー洗粉袋入

新橋竹川町二十二番地　電話新二〇二七　本店　ゑり治
神田表神保町壹番地　電話本局九五二　支店　ゑり治

恭賀新年　店員　高見澤榮輔

袴之親玉

恭賀新年

東京日本橋區長谷川町 卸部 美濃磯本店 電話浪花二八九五番

小賣部
本郷區本郷五丁目 美濃磯本郷支店 電話下谷一四一五番
淺草區諏訪町 美濃磯淺草支店
日本橋區佐内町 美濃磯佐内町支店
深川區高ばし際 美濃磯支店
芝區新櫻田町 小田商店
牛込區神樂町二丁目 伊澤商店
四谷區傳馬町二丁目 伊澤支店

醫院案内

院長 醫學博士 榊順次郎（毎日午前診察）
副院長 醫學士 久保徳太郎（毎日夕刻診察）
婦人科產科榊病院
東京麹町三番町卅三（電話番町三九五）

看護婦の需に應ず
東京看護婦協會
神田區錦町參、貳、（電本三三一四）

ドクトル 川瀬元九郎
東京市麹町區隼町二十八番地
内科一般 内科的小兒病
身體檢査 并に運動療法
診察午前中（電話番町八二三番）

小兒病診療
宅診午前 往診午後
淺草區福井町貳番地
醫學士 内田愼太郎
電話下谷七一八番

產科婦人科專門 ドクトル 樋口繁次
歸朝後於本院診療に從事す……各科診察從前の通
東京病院
芝愛宕電 新二六四

院長 醫學士 烏山南壽次郎
午前診察 午後往診
烏山内科院
京橋區鎗屋町十一番地
電話新橋千七百四十六番

●水原產科婦人病院
○所在神田區猿樂町十二番地（電話本局千七百〇九番）○外來診察午前中○入院往診隨時○同院に私立產婆學校の設あり

るゐれき 切らずになをす
○心臟病（殊に瓣膜病）○脚氣（轉地不必要）
（診察午前）千葉内科院
神田區三崎町三ノ一 西通り廿五

◎婦人科 ◎小兒科 專門
午前 宅診 午後 往診
東京市麹町區飯田町四丁目九
女醫鷲山彌生

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

◎特約販賣店
◎東京堂 神田區表神保町三番地
◎東海堂 京橋區銀座四丁目

油染油垢でも揉まずに脱る奇代の原料

世界無比 新發明 英國製ワッセル

◎此ワッセルは湯一升に二匁（小盃へ半分餘、の割合にて溶解し洗濯物を凡貳時間浸し揉まずに置き後水にて洗へば自然に脱ます白地の着物シャツ足袋等には石鹼より數倍の効用があります

◎婦人の髮は一匁五分（小盃へ半分位）を一升餘の湯に溶解して洗へば玉子と同樣の効用があります脂肪多き身躰に常に使用すれば皮膚を密にします尤も水虫糸かせ手のあれる事は決してありません

◎食器臺所道具は勿論戸棚板の間の拭掃除にも有効です絹木綿毛織物を晒すに至極妙です又硬水を軟水にする特効があります蒸汽管の鑛石も奇妙に除去ます

芳香ワッセル

◎此ワッセルは香料其他衛生に適する各種の原料とを加味せしものなれは朝夕御用ひの方に香氣馥郁として色を白くし總て皮膚の患にかゝるとなし又おしろい下を用ひずして御化粧の出來る事妙なり

ワッセル水　ワッセル石鹼

◎此品も芳香ワッセル同樣の有効品でありますす論より證據一度御用ひあれば其効能はすぐ知れます

◎年始進物用好適當品

東京京橋區卅間堀三丁目河岸
英國製ワッセル日本一手販賣元
御肌あらい芳香ワッセル製造元
三友商會
（電話新橋千七百十二番）

費用と手數を省き無害有効の洗淨品

總裁 伯爵 東久世通禧君

國文學講義

會員募集

講習一年講義錄毎月二回廿四冊完了
◎束修廿錢月費卅五錢一年四回規則郵券二錢にて呈す

國勢日に月に發展す國文の研究豈之に伴はずして可ならんや本會茲に見るあり懇切博識なる左記諸先生が贊成員講師に仰き整齊なる組織と斬新なる施設とに由りて、國語の性質國文學發展の由來各時代文學の特色を一目の下に通觀せしめんとす各時代の文學に亘る講義は實に本書を以て嚆矢とす如何に系統的にして又如何に組織的なるかは乞ふ本誌に就て之を見よ

文學博士 芳賀矢一君　文學博士 萩野由之君　文學士 長谷川福平君　文學士 堀重里君
文學士 尾上八郎君　學習院教授 和田英松君　文學士 渡邊良法君　文學士 垣内松三君
文學士 武島又次郎君　文學士 高木尚介君　文學博士 上田萬年君　文學士 山内二郎君
高師教授 松井簡治君　文學士 藤岡作太郎君　文學士 藤岡繼平君　文學士 菊地壽人君
文學士 志田義秀君　文學士 森洽藏君　高師教授 關根正直君　文學士 杉敏介君

講習科目大要

一、日本文學史
二、奈良朝文學評釋 祝詞宣命万葉集等
三、平安朝文學評釋 源氏大鏡三代集枕草紙等
四、鎌倉文學評釋 增鏡太平記盛衰記等
五、足利文學評釋 謠曲狂言舞本連歌等
六、德川文學評釋 國學者類戲曲小說俳諧俳文川柳狂歌狂文等
七、日本文法
八、國語研究法

第一卷（十二月廿日）要目 ◎日本文學史 日本に於ける漢文學の變遷 松井教授 ◎奈良朝文學 祝詞宣命 堀文學士 ◎平安朝文學 三代集 武島文學士 大鏡 藤岡文學士 ◎鎌倉文學 增鏡 萩野博士 ◎足利文學 謠曲狂言 森文學士 ◎德川文學 國學者 高木文學士 戲曲小說 山内文學士 俳文俳句 渡邊文學士 ◎文法 芳賀博士 ◎國語研究法 垣内文學士 ◎撿定試驗問題解答 ◎俗諺に就て 志田文學士 ◎傳說と小說 山内文學士 ◎萬歲の話 長谷川文學士 ◎文學史料 ◎其他應問文苑、彙報、新著批評等

撿定試驗各學科の受驗者及受驗志望者のため講義錄紙上特に一欄を設け受驗上に必要なる手續報道又は心得を載せ或は之に關する質問照會等に應答す獨り國語漢文科のみならず各學科の受驗者に多大の便宜あらん、

文部省檢定受驗案内

◎會則 郵券二錢にて呈す

東京神田西小川町二丁目
國語漢文學會

新年之御慶目出度申納候

明治三十八年一月

追て弊店儀は元三井呉服店の組織を相更め候ものに有之自今一層事業を擴張し漸次種々の新設備を施して益御便利を圖り可申候間不相變御用命の程奉願上候

東京日本橋區駿河町
三越呉服店
電話本局（特五二五番 一二一七番 一八五六番 一八六〇番 二三二〇番）

日本女子大學校御用
共立女子職業學校御用
各女學校御用

謹賀新年

造花材料
造花器械
造花用繪具各種
摘ミ細工原料
花簪原料
根掛原料
刺繡材料
和洋リボン各種

天野卯兵衛商店

電話浪花一六四三番
東京市日本橋區横山町一丁目十六番地

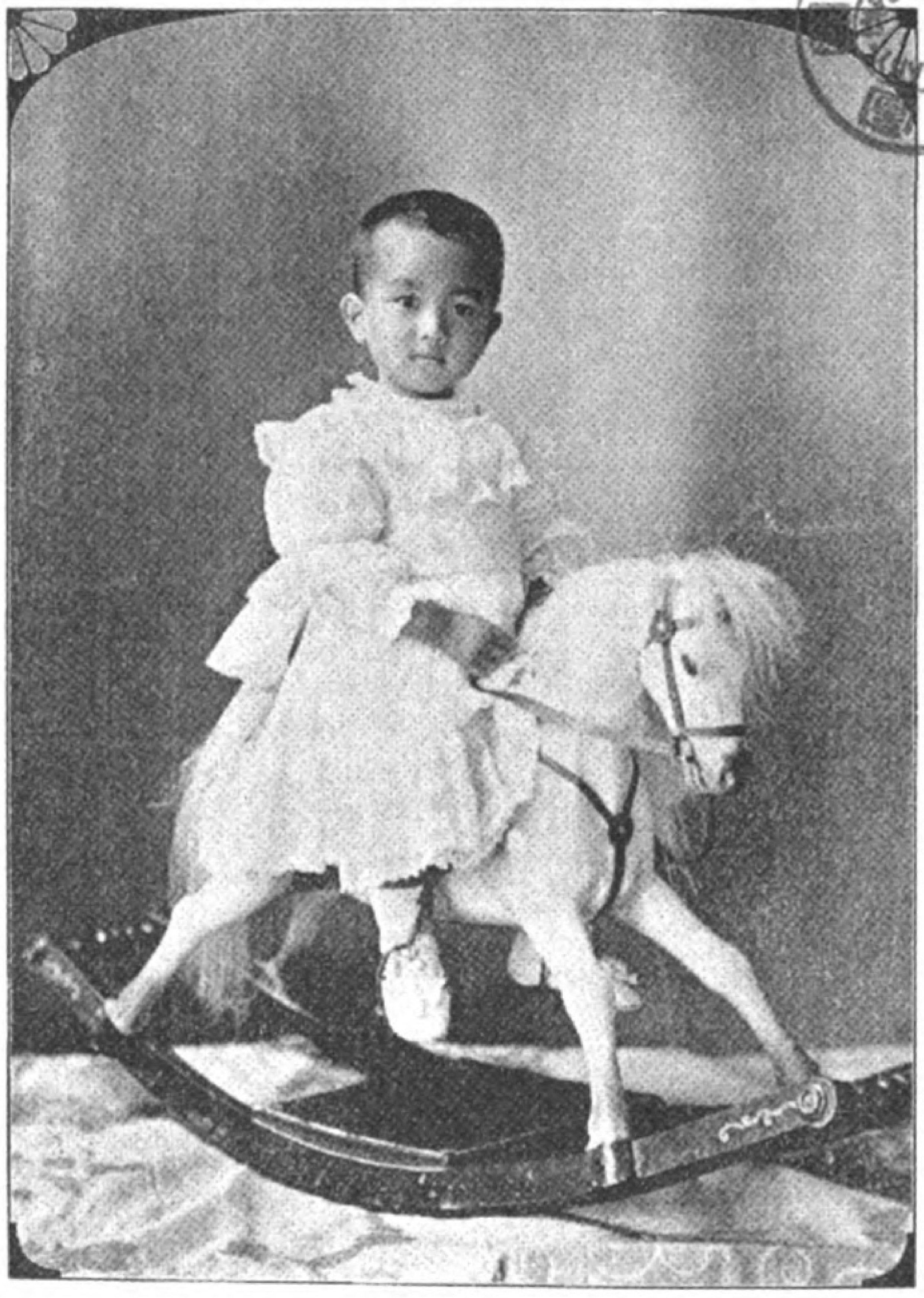
明治三十八年一月一日發行（毎月五日二十日二回）
發行兼印刷人 山澤俊夫　編輯人 手島益雄　發行所 愛國婦人會內
印刷所 東京市牛込區市ケ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google　Original from UNIVERSITY OF MICHIGAN

明治三十八年一月一日發行（毎月五日廿日二回）
明治三十五年三月廿七日（第三種郵便物認可）

愛國婦人第六十九號附錄

帝國圖書館 IMPERIAL LIBRARY



迪宮裕仁親王殿下

淳宮雍仁親王殿下

發行兼印刷人 山澤俊夫、編輯人 手島益雄、發行所 愛國婦人會內愛國婦人發行所
印刷所 東京市牛込區市ヶ谷加賀町一丁目十二番地 株式會社秀英舍第一工場

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN

Digitized by Google
Original from
UNIVERSITY OF MICHIGAN